２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	キャリアプランニングⅠ （Career Planning Ⅰ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	吉丸 優麻
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 （2）	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日3時限

【授業の学習内容】

自分自身の進路（自分らしく生きる道）を見つけるために、本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせば良いのか「気づき」を得る。
また、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えを理解し、自己管理と協働作業が実践的にできるようになる。

【到達目標】

セルフマネジメント（自己管理）を実践できる。
チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる。
自己の働く意義（勤労観・職業観）を説明できる。
社会人として必要な社会性・人間性を理解し、実践できる。
目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる。
自己実現（夢を叶える）のための目標設定をし、実践できる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・クラス目標決め・Eボードの見方・グループワーク①かたちをつくろう・「習慣」プリント配布
2回目	個人目標の設定・キャリアサポートアンケートの実施・個人面談の予告・1週目を終えて授業の受け方の確認（準備・ノートの取り方・号令や掃除の仕方）
3回目	GWの過ごし方について（課題：教科書第一章のレポート・読書感想文・業界リサーチなど）・SSCと図書室の紹介・安全講習①～動画（自転車編）～・学校生活アンケート①
4回目	GWの振り返り・安全講習②～動画（悪徳商法編）～・グループワーク②「人生の優先順位（石と壺の話）」
5回目	安全講習③～動画（性犯罪編）～・学園祭の話し合い・中間試験週について
6回目	安全講習④～動画（薬物乱用防止編）～・学園祭の話し合い・グループワーク③もじもじゲーム
7回目	グループワーク③TED「だったらこうしてみたら？」より・学園祭の話し合い・中間評価
8回目	学園祭の準備・学校生活アンケート②・グループワーク④私の四面鏡
9回目	学園祭の振り返り
10回目	成功の原則～卒業生たちから見る行動の原則～
11回目	グループワーク⑤ムシムシ教室の席替え・履歴書の書き方講座
12回目	夏休みの過ごし方（課題：自己分析・履歴書にトライ・読書感想文など）・グループワーク⑥他己評価
13回目	夏休みの振り返り・試験規程・進級に必要単位数などの学生便覧記載内容の確認と理解
14回目	評価試験・履歴書作成のポイント①（志望動機・自己PRのまとめ方）・スポーツフェスタの話し合い・学校生活アンケート③
15回目	立志作文を書こう（TED「だったらこうしてみたら？」再鑑賞）・前期の振り返り及び後期の授業について・スポーツフェスタの話し合い
準備学習 時間外学習	・日々の学校生活を学習ポートフォリオに残す ・事前課題などの各種レポートを書く ・就職ガイダンスや企業説明会など、就職関連のイベントに参加する ・動物施設での校外学習に参加する ・学校行事に参加する ・世の中の時事に関心を向ける
評価方法	出席率…50% 授業への参加態度・課題などの提出と記入内容…30% 試験…20%

【使用教科書・教材・参考書】

Hand-book of Life Style

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	キャリアプランニングⅠ （ Career Planning Ⅰ ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	吉丸　優麻
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 （2）	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日３時限

【授業の学習内容】

自分自身の進路（自分らしく生きる道）を見つけるために、本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせば良いのか「気づき」を得る。
また、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えを理解し、自己管理と協働作業が実践的にできるようになる。

【到達目標】

セルフマネジメント（自己管理）を実践できる。
チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる。
自己の働く意義（勤労観・職業観）を説明できる。
社会人として必要な社会性・人間性を理解し、実践できる。
目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる。
自己実現（夢を叶える）のための目標設定をし、実践できる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・後期スケジュール確認・目標の設定と実践プランの作成
2回目	履歴書作成のポイント②（専門分野で学んだこと・最近の関心事のまとめ方）
3回目	グループワーク①やる気エンジン、履歴書の完成
4回目	動物愛護フェスティバルの話し合い・学校生活アンケート④・グループワーク②「しあわせ」「自立」について考える
5回目	動物愛護フェスティバルの準備
6回目	就職ガイダンスに向けて・動物愛護フェスティバルの準備
7回目	動物愛護フェスティバルの振り返り・進級課題のガイダンス（グループ分け・テーマ決め）・中間評価・グループワーク③「立場」「ふつう」について考える
8回目	進級課題（内容決め・資料探し）
9回目	業界研修に向けて（キャリアセンターよりガイダンス）
10回目	進級課題（発表資料作成）・グループワーク④「平和」について考える
11回目	進級課題（発表準備）
12回目	進級課題（発表）・試験について・学校生活アンケート⑤
13回目	キャリアセンター登録票をもとに希望進路を考える・We are ECO(卒業進級制作展)の話し合い
14回目	評価試験・We are ECO(卒業進級制作展)の話し合い
15回目	業界研修に向けて（研修ノートについて・目標を明確に理解し、備える）・We are ECO(卒業進級制作展)の準備・2年次に向けて
準備学習 時間外学習	・日々の学校生活を学習ポートフォリオに残す ・事前課題などの各種レポートを書く ・就職ガイダンスや企業説明会など、就職関連のイベントに参加する ・動物施設での校外学習に参加する ・学校行事に参加する ・世の中の時事に関心を向ける
評価方法	出席率…50% 授業への参加態度・課題などの提出と記入内容…30% 試験…20%

【使用教科書・教材・参考書】

Hand-book of Life Style

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	コミュニケーションスキルアップ （ Improving Communication Skills ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	セレーノコーポレーション
		授業形態	演習	総時間 （単位）	30	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業		2	曜日・時限	木曜日２時限

【授業の学習内容】

社会人として通用するコミュニケーション力を年間を通じ身に付ける事で、学生生活、就職活動、卒業後の社会生活を円滑に送る事ができ、また人生をより豊かにする機会も増える。この科目ではビジネス現場で求められるコミュニケーションや対応、言葉遣いを実践しながら学ぶ。

※担当教員：各種セミナー（話し方、傾聴、新入社員研修等）を通して人材育成事業に取り組む企業より講師を招き、授業を実施。

【到達目標】

12月に行われるコミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指すと共に、
豊かな人生を送るためにコミュニケーションスキルを発揮できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業の進め方、オリエンテーション（自己紹介）、コミュニケーションの定義【P9～】
2回目	第一印象（コミュニケーションの定義、メラビアンの法則、笑顔の作り方）【P14～】 基本的対話スキル、会話のプロセス
3回目	基本的対話スキル 「話し方」【P18～】
4回目	基本的対話スキル 「聴き方」【P23～】
5回目	基本的対話スキル 「グループでの会話」【P34～】
6回目	ロープレ：情報共有、整理・集約のゲーム①、中間試験対策
7回目	中間試験、自己表現スキル 「挨拶」「自己表現」【P42～】
8回目	中間評価フィードバック、自己表現スキル 「上手な頼み方、断り方」「自己主張」【P46～】
9回目	自己表現スキル 「報連相」「会議・ミーティング」【P60～】
10回目	自己表現スキル 「アンガ―マネジメント」【P80～】
11回目	社会的スキル 「基本的な社会的スキル」【P94～】
12回目	社会的スキル 「挨拶」「敬語」「電話応対」【P96～】
13回目	前期評価テスト 対策
14回目	前期評価テスト 実施 試験後、教科書のポイントを再度伝え、内容を理解させる
15回目	前期評価テスト 解説 後期の授業の進め方
準備学習 時間外学習	次週の授業内容の範囲を、教科書を読み、わからない言葉・言い回しを抜き出しておくこと。
評価方法	試験１００％

【使用教科書・教材・参考書】

コミュニケーションスキルアップ検定（JESC）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	コミュニケーションスキルアップ （ Improving Communication Skills ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	セレーノコーポレーション
		授業形態	演習	総時間 （単位）	30	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業		2	曜日・時限	木曜日２時限

【授業の学習内容】

社会人として通用するコミュニケーション力を年間を通じ身に付ける事で、学生生活、就職活動、卒業後の社会生活を円滑に送る事ができ、また人生をより豊かにする機会も増える。この科目ではビジネス現場で求められるコミュニケーションや対応、言葉遣いを実践しながら学ぶ。

※担当教員：各種セミナー（話し方、傾聴、新入社員研修等）を通して人材育成事業に取り組む企業より講師を招き、授業を実施。

【到達目標】

12月に行われるコミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指すと共に、
豊かな人生を送るためにコミュニケーションスキルを発揮できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	ロープレ：ビジネス電話検定、電話応対ゲーム
2回目	社会的スキル 「接客」「訪問」【P105～】
3回目	社会的スキル 「謝罪」【P112～】
4回目	ロープレ：接客、訪問、名刺交換
5回目	社会的スキル 「ビジネス文書」「メール」「FAX」「SNS」【P116～】
6回目	中間試験対策
7回目	中間試験、サービスマインドとは
8回目	中間評価フィードバック DVD鑑賞　マナーの本質 「相手を思いやる心」
9回目	サービスマインド 「サービスとは」「サービスの心得」【P126～】
10回目	サービスマインド 「サービス基本要素」【P132～】
11回目	ロープレ：ビジネスシュミレーションゲーム（敬語・電話応対・訪問・接客）
12回目	謝罪（謝る、お詫びする） マナーを意識した行動
13回目	後期期末試験対策
14回目	後期期末試験、ビジネスシュミレーションワーク
15回目	1年間の総復習、ロープレ
準備学習 時間外学習	次週の授業内容の範囲を、教科書を読み、わからない言葉・言い回しを抜き出しておくこと。
評価方法	試験100%

【使用教科書・教材・参考書】

コミュニケーションスキルアップ検定（JESC）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	コンピュータ演習 （Computer Skills Practice ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	千葉　惠一
		授業形態	演習	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日3時限

【授業の学習内容】

業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく。
前期は「Word」を使い「レポート」や「写真を貼った文章」が作れるように勉強していく。また、安全にインターネットを利用できるように「ITリテラシー」も勉強する。
前期・後期をまたぎ「PowerPoint」でスライド作成の勉強をする。
基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。

※担当教員：長年滋慶学園各校でコンピュータ授業を担当。

【到達目標】

教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる。
Wordを使ってレポート作成が出来るようになる。
安全にインターネットを利用できるようになる。
「We are ECO」のスライドが作れるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／ITリテラシー①
2回目	ITリテラシー②
3回目	Wordの基本操作①
4回目	Wordの基本操作②
5回目	Wordの基本操作③
6回目	Wordの基本操作④
7回目	Wordの基本操作⑤
8回目	Word中級編①
9回目	Word中級編②
10回目	Word中級編③
11回目	Wordの応用①
12回目	Wordの応用②
13回目	Wordの応用③
14回目	期末評価/Wordの応用まとめ
15回目	PowerPoint基礎①
準備学習　時間外学習	課題提出の準備として、事前の画像・映像などの撮影チェック(スマートフォンでできる範囲でよい) 授業の予習として、わからない言葉や内容の部分を自宅のネット環境で調べられる範囲の予習。 授業後の内容確認としてパソコン操作のを確認すること。
評価方法	小テスト(20%)＋中間評価テスト(30%)＋期末テスト(50%)　※中間・期末の評価は提出作品（Word作品提出）

【使用教科書・教材・参考書】

・COMPUTER　BASIC　WORD　2019　（株式会社滋慶出版）
・COMPUTER　BASIC　EXCEL　2019　（株式会社滋慶出版）

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	コンピュータ演習	必修選択	必修	年次	1	担当教員	千葉　惠一
	（Computer Skills Practice ）	授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	月曜日3時限

【授業の学習内容】

業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく。
後期は「Excel」を使い「計算式が入った表」や「読みやすいグラフの作り方」を勉強していく。
Excelへの苦手意識を少しでも減らす講義にする。
基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。

※担当教員：長年滋慶学園各校でコンピュータ授業を担当。

【到達目標】

Excelへの苦手意識を少しでも減らし、教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる。
Excelを使って計算式が入った表やグラフが作成出来るようになる。
「We are ECO」のスライドを作成することが出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	PowerPoint基礎（印刷、スライドマスター、切り替え効果、アニメーション）
2回目	PowerPoint課題提出
3回目	Excelの基礎①
4回目	Excelの基礎②
5回目	Excelの基礎③
6回目	Excelの基礎④
7回目	Excel中級編①
8回目	Excel中級編②
9回目	Excel中級編③
10回目	Excel中級編④
11回目	Excelの応用①
12回目	Excelの応用②
13回目	Excelの応用③
14回目	期末評価/Excel応用まとめ
15回目	まとめ(Word・Excel・PowerPoint)
準備学習　時間外学習	課題提出の準備として、事前の画像・映像などの撮影チェック(スマートフォンでできる範囲でよい) 授業の予習として、わからない言葉や内容の部分を自宅のネット環境で調べられる範囲の予習。 授業後の内容確認としてパソコン操作のを確認すること。
評価方法	小テスト(20%)＋中間評価テスト(30%)＋期末テスト(50%)　※中間・期末の評価は提出作品（PowerPoint作品提出・Excel作品提出）

【使用教科書・教材・参考書】

・COMPUTER　BASIC　WORD　2019　（株式会社滋慶出版）
・COMPUTER　BASIC　EXCEL　2019　（株式会社滋慶出版）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	アニマルベーシック （Animal Study Basics）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高山　清次
		授業形態	講義	総時間 （単位）	15 (1)	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	遠隔授業			曜日・時限	週1回のオンデマンド配信

【授業の学習内容】

動物に関する勉強をする場合の生物学的基礎知識を理解する。

※担当教員：麻布大学獣医学部博士課程修了（獣医学博士）

【到達目標】

基礎生物学の知識を身につけることにより、動物業界で活躍する人材になることを目標としている。

授業計画・内容	
1回目	光合成・食物連鎖、血液の役割・成分・生成、消毒滅菌について理解できる。
2回目	ズーノーシス、濃度計算と希釈法、バイタルサイン、生体防御システムについて理解できる。
3回目	エイズと免疫、アレルギーと免疫、ワクチンと免疫、外分泌と内分泌、代謝について理解できる。
4回目	五大栄養素、遺伝、繁殖、イヌとネコの交配について理解できる。
5回目	DNA・遺伝子・ゲノム、体細胞クローン動物、外来種、絶滅危惧種について理解できる。
6回目	温暖化、酸性雨、オゾンホール、エコロジー関連の国際条約について理解できる。
7回目	評価及び振り返り
8回目	まとめ
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	視聴後はレポートを提出（質問等を含む）。次回視聴の際、前回の質問について回答する。 テキストの範囲内を予習・復習すること。
評価方法	定期試験の結果（80%）に、レポート提出（20%）を加味して評価。

【使用教科書・教材・参考書】

株式会社滋慶出版 「ECO業界で役立つ基礎生物」

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	動物の体のしくみ (Animal Anatomy and Physiology)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	高山　清次
		授業形態	講義	総時間（単位）	15 (1)	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	遠隔授業			曜日・時限	週1回のオンデマンド配信

【授業の学習内容】

犬を中心とした基本的な動物の体の構造・骨格や生理的な知識について、理解することを目的とする。

※担当教員：麻布大学獣医学部博士課程修了（獣医学博士）

【到達目標】

犬の体を構成する各機関の位置、構造、機能をそれぞれ理解することにより、動物の飼養管理や疾病予防に役立つことを目標とする。

授業計画・内容	
1回目	外皮系、消化器系（歯・食道・胃・小腸・大腸・肝臓・胆のう・膵臓）の構造と働きについて理解できる。
2回目	泌尿器系（腎臓・膀胱）、呼吸器系（気管・肺）の構造と働きについて理解できる。
3回目	生殖器系（雄性生殖器・雌性生殖器）、内分泌系（下垂体・甲状腺・上皮小体・副腎・胸腺）の構造と働きについて理解できる。
4回目	循環器系（心臓・血液循環・リンパ系）、感覚器系（眼球・耳）の構造と働きについて理解できる。
5回目	神経系（脳・脊髄）、筋系（骨格筋・横隔膜）の構造と働きについて理解できる。
6回目	骨格系（骨格）、細胞の構造と働きについて理解できる。
7回目	評価及び振り返り
8回目	まとめ
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	視聴後はレポートを提出（質問等を含む）。次回視聴の際、前回の質問について回答する。 テキストの範囲内を予習・復習すること。
評価方法	定期試験の結果（80%）に、レポート提出（20%）を加味して評価。

【使用教科書・教材・参考書】

株式会社滋慶出版 「イラストで見る動物の体のしくみ（ECO専門基礎科目テキストセット）」

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	動物の健康管理 (Animal Health Management)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	高山　清次
		授業形態	講義	総時間（単位）	15	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	遠隔授業		(1)	曜日・時限	週1回のオンデマンド配信

【授業の学習内容】

動物を飼育するための飼育管理方法、病気やその予防法を理解することを目的とする。

※担当教員：麻布大学獣医学部博士課程修了（獣医学博士）

【到達目標】

動物を飼育するための飼育管理方法、病気やその予防法を理解できている。

授業計画・内容	
1回目	ウォンバット・キツネ・キリン・カンガルーなどの飼養管理について理解できる。
2回目	クマ・タヌキ・ゾウ・ニホンザルなどの飼養管理について理解できる。
3回目	アザラシ・イルカ・ウミガメ・クラゲなどの飼養管理について理解できる。
4回目	イヌ・ネコ・ウサギ・インコ・モルモットなどの飼養管理について理解できる。
5回目	ウシ・ウマ・ニワトリ・ブタなどの飼養管理について理解できる。
6回目	評価及び振り返り
7回目	まとめ
8回目	
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	視聴後はレポートを提出（質問等を含む）。次回視聴の際、前回の質問について回答する。 テキストの範囲内を予習・復習すること。
評価方法	定期試験の結果（80%）に、レポート提出（20%）を加味して評価。

【使用教科書・教材・参考書】

株式会社滋慶出版 「イラストで見る動物の体のしくみ（ECO専門基礎科目テキストセット）」

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	アニマルヒストリー （History of Interconnections between Animals and Humans）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	髙山　清次
		授業形態	講義	総時間 （単位）	15 （1）	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	遠隔授業			曜日・時限	週1回のオンデマンド配信

【授業の学習内容】

動物に関する歴史を学び、現代社会において、いかに動物との関係が必要であるかについて理解することを目的とする。

※担当教員：麻布大学獣医学部博士課程修了（獣医学博士）

【到達目標】

広い視野と柔軟な考え方を持ち、「人と動物のより良い関係」を築くことができる業界人になることを目標とする。

授業計画・内容	
1回目	動物の進化とゲノムDNAの進化について理解できる。
2回目	イエイヌの歴史、人間と家畜の歴史、動物の仕事に携わる者としての倫理を理解できる。
3回目	ペットビジネスの種類を理解し、環境を守る観察と観光について知識を深めることができる。
4回目	動物介在療法（AAT）と動物介在活動（AAA）、動物が人に与える効果について、セラピーに向く動物の育成、ペットロスについて、理解できる。
5回目	牧羊犬、警察犬、救助犬、身体障害者補助犬法、盲導犬、介助犬、聴導犬、ズーノーシスについて理解できる。
6回目	評価及び振り返り
7回目	まとめ
8回目	
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	視聴後はレポートを提出（質問等を含む）。次回視聴の際、前回の質問について回答する。 テキストの範囲内を予習・復習すること。
評価方法	定期試験の結果（80%）に、レポート提出（20%）を加味して評価。

【使用教科書・教材・参考書】

株式会社滋慶出版 「動物年表で知るアニマルヒストリー（ECO専門基礎科目テキストセット）」

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	コンパニオンドッグ （ Companion Dog ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	間　美加
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日2時限

【授業の学習内容】

犬はこれまで歴史と共に用途に向けて品種改良され、日本国内でも数多くの犬種が登録されている。
犬種の特性を活かしたスポーツドッグの育成・トレーニングに長く携わる講師が、JKCに登録されている犬種の歴史や用途、特徴を解説する。

※担当教員実務経験：犬種の特性を活かしたスポーツドッグの育成・トレーニングに従事。
日本フリスビードッグ協会主催のフリスビードッグ日本一を決める大会「ジャパンファイナル」で多くの優勝・入賞経験を持つ。

【到達目標】

JKCにおける10グループ分類と各グループの代表的な犬種を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	犬の歴史、進化と品種改良
2回目	グループ内容説明、JKC公認犬種
3回目	第1グループ　シープドッグ
4回目	第1グループ　コリー犬種、シェパード
5回目	第1グループ　キャトルドッグ、その他
6回目	第2グループ　ピンシャー＆シュナウザー
7回目	第2グループ　モロシアン犬種説明
8回目	第2グループ　スイスマウンテンドッグ
9回目	第3グループ　テリア、狩猟犬種～愛玩犬
10回目	第3グループ　犬種説明
11回目	第3グループ　犬種説明
12回目	第4グループ　ダックスフンド
13回目	第5グループ　スピッツ　日本犬種
14回目	テスト（第1～第5 日本犬種まで）　振り返り
15回目	テスト見返し
準備学習 時間外学習	最新犬種図鑑に記載されている各犬種グループをまとめること。
評価方法	筆記試験/実技試験 筆記試験：80% 授業参加度：20%

【使用教科書・教材・参考書】

最新犬種図鑑（インターズー）

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	コンパニオンドッグ (Companion Dog)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	間　美加
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日2時限

【授業の学習内容】

犬はこれまで歴史と共に用途に向けて品種改良され、日本国内でも数多くの犬種が登録されている。この授業では犬種の特性を活かしたスポーツドッグの育成・トレーニングに長く携わる講師が、JKCに登録されている犬種の歴史や用途、特徴を解説する。

※担当教員実務経験：犬種の特性を活かしたスポーツドッグの育成・トレーニングに従事。
日本フリスビードッグ協会主催のフリスビードッグ日本一を決める大会「ジャパンファイナル」で多くの優勝・入賞経験を持つ。

【到達目標】

JKCにおける10グループ分類と各グループの代表的な犬種を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	第5グループ　スピッツの歴史、犬種説明
2回目	第5グループ　プリミティブタイプ
3回目	狩猟犬とグループ分け内容
4回目	第6グループ　犬種説明
5回目	第7グループ　犬種説明
6回目	第8グループ　レトリーバー
7回目	第8グループ　その他の犬種説明
8回目	第10グループ　サイトハウンド
9回目	第9グループ　愛玩犬の歴史
10回目	第9グループ　人気犬種の説明
11回目	第9グループ　その他の犬種
12回目	第1～第10までの復習
13回目	非公認犬種（Mixやハイブリッド含む）
14回目	テスト（第1～第10 代表犬種）　振り返り
15回目	テスト見返し
準備学習 時間外学習	最新犬種図鑑に記載されている各犬種グループをまとめること。
評価方法	筆記試験/実技試験 筆記試験：80% 授業参加度：20%

【使用教科書・教材・参考書】

最新犬種図鑑（インターズー）

２０２３年度　シラバス

科目名 (英語表記)	エキゾチックアニマル (Exotic Animal)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	安田　桂三
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日 2時限

【授業の学習内容】

小動物の生態、行動、飼育管理法について学び、理解し、お客様に説明できるようになる。

※担当教員実務経験：エキゾチックアニマルペットショップ「GROWING」の創業メンバーとして、店舗の設備、デザインを担当。その後管理業務、接客、取引に関する店舗営業の大部分を担当。水族館や大型ショッピングモール等と協力してのイベント運営などにも従事。
現在は生体の販売、繁殖、輸入等に従事。

【到達目標】

現在、一般的に販売されている小動物の生態を飼育目線で理解し、お客様に説明できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（プロとしての飼育知識、必要なマインドについて）
2回目	エキゾチックアニマルとは（家畜、コンパニオンアニマルとの違い）
3回目	エキゾチックアニマルの生態・飼育方法の調べ方、学び方
4回目	ハムスターの生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
5回目	ハムスターの生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
6回目	ウサギの生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
7回目	ウサギの生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
8回目	フェレットの生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
9回目	フェレットの生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
10回目	フクロモモンガの生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
11回目	フクロモモンガの生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
12回目	ハリネズミの生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
13回目	ハリネズミの生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
14回目	エキゾチックアニマルを紹介するレポートの概要説明
15回目	レポート提出・講義全体の振り返り、統括
準備学習 時間外学習	現在のお客様の多くが、インターネットで飼育方法を調べるため、 ・生態（原産国、野生での生活、人間との関係性） ・飼育方法（温度、湿度管理、餌、必要な機材） 前記の内容を、授業までにあらかじめ自身で調べておくこと。 授業で説明した内容と、自身が調べた内容を比較し、お客様にご案内するときに重要なことを復習し考えること。
評価方法	定期試験を実施（70%）と、授業への参加意欲（30%）を見て評価。

【使用教科書・教材・参考書】

・滋慶教育科学研究所 「イラストで見る動物の飼養管理」

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	両性爬虫類 （ Amphibians and Reptiles ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	安田　桂三
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日 2時限

【授業の学習内容】

両生類・爬虫類の生態、行動、飼育管理法について学び、理解し、お客様に説明できるようになる。

※担当教員実務経験：エキゾチックアニマルペットショップ「GROWING」の創業メンバーとして、店舗の設備、デザインを担当。その後管理業務、接客、取引に関する店舗営業の大部分を担当。水族館や大型ショッピングモール等と協力してのイベント運営などにも従事。
現在は生体の販売、繁殖、輸入等に従事。

【到達目標】

現在、一般的に販売されている両生類・爬虫類の生態を飼育目線で理解し、お客様に説明できるようになる。
より本質的な飼育の基礎を理解し、お客様に寄り添った飼育のご提案ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	①オリエンテーション　②両生爬虫類の、現代の人間との関わり方について
2回目	①爬虫類とは。その生態や特徴②両生類とは。その生態や特徴
3回目	爬虫類の生態・飼育方法の調べ方、学び方
4回目	ヤモリの生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
5回目	ヤモリの生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
6回目	ヘビの生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
7回目	ヘビの生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
8回目	カメの生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
9回目	カメの生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
10回目	トカゲの生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
11回目	トカゲの生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
12回目	両生類の生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
13回目	両生類の生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
14回目	両生爬虫類を紹介するレポートの概要説明
15回目	レポート提出・講義全体の振り返り、統括
準備学習 時間外学習	現在のお客様の多くが、インターネットで飼育方法を調べるため、 ・生態（原産国、野生での生活、人間との関係性） ・飼育方法（温度、湿度管理、餌、必要な機材） 前記の内容を、授業までにあらかじめ自身で調べておくこと。 授業で説明した内容と、自身が調べた内容を比較し、お客様にご案内するときに重要なことを復習し考えること。
評価方法	定期試験を実施（70%）と、授業への参加意欲（30%）を見て評価。

【使用教科書・教材・参考書】

株式会社滋慶出版 「動物の飼養管理」
株式会社エムピージェー 「爬虫両生類の上手な飼い方」

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	観賞魚研究Ⅰ （ Ornamental Fish Ⅰ ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	細川 信行
		授業形態	講議	総時間（単位）	30	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	金曜日4時限

【授業の学習内容】

淡水水生生物を飼育管理するうえで必要な、淡水魚種に関する知識・設備及び備品に関する知識・水質管理及び浄化システムに関する知識を自作のテキストを用いて学習する。

※担当教員実務経験：aqua shop D-aquarium 代表。
世界水草レイアウトコンテストの入賞経験があるなど、水槽レイアウトは世界レベルでオリジナリティ溢れる技術を持つ。

【到達目標】

淡水水生生物飼育に必要な飼育設備、水質維持管理に関する基礎知識を習得し、飼育に必要な環境を整え飼育管理を行えるようになる。
基礎知識を生かし、様々な飼育法に応用できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介。 1年間を通して行う授業内容及び方法の説明。 自作テキスト資料配布。
2回目	淡水観賞魚の概要説明。淡水観賞魚の原産地・商業養殖について。
3回目	淡水魚の分類、グループ・代表種　学名について。
4回目	淡水水生生物飼育に必要な器材/水槽に関する知識。
5回目	淡水水生生物飼育に必要な器材/濾過フィルター・濾過材・濾過バクテリアに関する知識。
6回目	淡水水生生物飼育に必要な器材/照明器具・保温器具・底砂に関する知識。
7回目	淡水水生生物飼育に必要な器材/その他設備、備品に関する知識。
8回目	ろ過の仕組み　三つのろ過（物理・生物・吸着）
9回目	ろ過サイクル（生物ろ過の重要性）
10回目	様々な水質（pH・GH・KHなど）
11回目	セットアップとメンテナンス　設置の注意点・立ち上げ方法
12回目	セットアップとメンテナンス　メンテナンス手順
13回目	セットアップとメンテナンス　給餌
14回目	前期評価及び前期振り返り①
15回目	前期振り返り②
準備学習 時間外学習	数千種にも及ぶ観賞魚の種類とその飼育方法を講義の中だけで全て把握する事は困難である為、常日頃から図鑑・飼育本などをを参照し知識の蓄積に努める。 並行して実際に観賞魚店などを訪れ、生体・飼育器具・飼育方法など生の情報収集行う。 定期的に発行されるアクアリウム専門誌などにも目を通し、 最新の情報・新商品・新着魚種などにもアンテナを張ること。 実際に自宅で観賞魚の飼育が行えればなお良い。
評価方法	■授業態度：20% ■筆記試験：80%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト
業界専門誌

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	観賞魚研究Ⅰ （ Ornamental Fish Ⅰ ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	細川 信行
		授業形態	講議	総時間（単位）	30	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	金曜日4時限

【授業の学習内容】

淡水水生生物を飼育管理するうえで必要な、淡水魚種に関する知識・設備及び備品に関する知識・水質管理及び浄化システムに関する知識を自作のテキストを用いて学習する。

※担当教員実務経験：aqua shop D-aquarium 代表。
世界水草レイアウトコンテストの入賞経験があるなど、水槽レイアウトは世界レベルでオリジナリティ溢れる技術を持つ。

【到達目標】

淡水水生生物飼育に必要な飼育設備、水質維持管理に関する基礎知識を習得し、飼育に必要な環境を整え飼育管理を行えるようになる。
基礎知識を生かし、様々な飼育法に応用できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	淡水魚の病気・魚病の要因　感染性・非感染性　魚の皮膚構造
2回目	淡水魚の病気/病原体別魚病解説・　白点病　（白点病のライフサイクル）
3回目	淡水魚の病気/治療方法　薬浴・加温治療・塩水浴
4回目	淡水魚の病気/治療方法（その他の魚病）　写真スライド解説
5回目	淡水魚の病気と治療/薬使用時の注意点・塩の効能
6回目	水草育成の基本　概要　分類
7回目	水草をきれいに育てる為に　器具説明　照明　底床材
8回目	水草をきれいに育てる為に　器具説明　二酸化炭素添加装置　その他
9回目	水草をきれいに育てる為に　水草の種類
10回目	水草をきれいに育てる為に　水草の下処理と植栽
11回目	水草水槽の維持管理　藻類の予防と駆除　/ 藻類発生の要因①～③
12回目	水草水槽の維持管理　藻類の予防と駆除　/ 藻類の予防と駆除
13回目	水草レイアウトの作り方/水草レイアウトの種類（ダッチ・ネイチャー・ランドスケープ）
14回目	後期評価及び後期振り返り①
15回目	後期振り返り②
準備学習 時間外学習	数千種にも及ぶ観賞魚の種類とその飼育方法を講義の中だけで全て把握する事は困難である為、常日頃から図鑑・飼育本などをを参照し知識の蓄積に努める。 並行して実際に観賞魚店などを訪れ、生体・飼育器具・飼育方法など生の情報収集行う。 定期的に発行されるアクアリウム専門誌などにも目を通し、 最新の情報・新商品・新着魚種などにもアンテナを張ること。 実際に自宅で観賞魚の飼育が行えればなお良い。
評価方法	■授業態度：20% ■筆記試験：80%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト
業界専門誌

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	ドッグトレーニング演習 （ Practice of Dog Training ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	牟田　杏奈
		授業形態	演習	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日3時限

【授業の学習内容】

動物の中でも特に人との関わりの長い「犬」に関して学ぶことは、動物の学習理論に理解を深めるとともに、動物業界でのお客様とのコミュニケーション(接客、ふれあい、啓発等)にも活用出来る。この授業では、犬の習性を理解し、また動物施設における適切な管理を学び実践する。

※担当教員実務経験：災害救助犬訓練士として従事、またしつけ教室にて家庭犬トレーナーとして従事。

【到達目標】

犬の生態、行動学、学習の仕方を理解し、犬とのコミュニケーションの向上をはかる。

授業計画・内容	
1回目	授業のオリエンテーション（1年間の流れ・注意点）
2回目	ペットブームの歴史
3回目	犬とのコミュニケーション
4回目	生体の特徴・行動学①
5回目	生体の特徴・行動学②
6回目	飼育管理・衛生面の必要性
7回目	適切な食事量・正しい与え方
8回目	適切な運動量・お散歩マナー
9回目	犬の成長
10回目	子犬を飼った愛犬家に指導すべきこと①
11回目	子犬を飼った愛犬家に指導すべきこと②
12回目	子犬に教えるしつけ①
13回目	子犬に教えるしつけ②
14回目	前期末の試験及び振り返り①
15回目	前期期末試験解説、振り返り②
準備学習 時間外学習	トレーニングの実践までに犬の生態、行動学をしっかり理解すること。 授業後はノート、レポートにまとめる。
評価方法	授業内評価（態度、積極的参加、発言力）40% レポート・ノート提出60%

【使用教科書・教材・参考書】

JKC訓練基本マニュアル・愛犬飼育管理士教本

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	ドッグトレーニング演習 （ Practice of Dog Training ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	牟田　杏奈
		授業形態	演習	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日5時限

【授業の学習内容】

動物の中でも特に人との関わりの長い「犬」に関して学ぶことは、動物の学習理論に理解を深めるとともに、動物業界でのお客様とのコミュニケーション(接客、ふれあい、啓発等)にも活用出来る。この授業では、犬の習性を理解し、また動物施設における適切な管理を学び実践する。

※担当教員実務経験：災害救助犬訓練士として従事、またしつけ教室にて家庭犬トレーナーとして従事。

【到達目標】

犬の生態、行動学、学習の仕方を理解し、犬とのコミュニケーションの向上をはかる。

授業計画・内容	
1回目	成犬に教えるトレーニング①（脚側停座・リーダーウォーク）
2回目	成犬に教えるトレーニング②（停座・伏臥）
3回目	成犬に教えるトレーニング③（据座）
4回目	成犬に教えるトレーニング④　問題行動の解決法
5回目	成犬に教えるトレーニング⑤　問題行動の解決法
6回目	成犬に教えるトレーニング①　問題行動の解決法
7回目	中間評価
8回目	ケアの必要性使用する道具
9回目	爪切り・耳掃除・ブラッシング練習
10回目	爪切り・耳掃除・ブラッシング練習
11回目	爪切り・耳掃除・ブラッシング練習
12回目	歯磨き
13回目	予防薬・投薬
14回目	後期末の試験及び振り返り①
15回目	後期期末試験解説、振り返り②
準備学習 時間外学習	トレーニングの実践までに犬の生態、行動学をしっかり理解すること。 授業後はノート、レポートにまとめる。
評価方法	実技試験60% 授業内評価（態度、積極的参加、発言力）30% レポート・ノート提出10%

【使用教科書・教材・参考書】

JKC訓練基本マニュアル・愛犬飼育管理士教本

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	小動物飼育演習Ⅰ（Practical Small Animal Care-Ⅰ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	椎場 瞳
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4）	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時（1週間×2回）

【授業の学習内容】

動物園・動物飼育専攻と総合ペットショップ専攻の2年生をスチューデントティーチャーとし、小動物を中心に体のしくみや生態を理解した上で飼育管理を学ぶ。

※担当教員実務経験：サファリパークにて3年間の飼育員経験有。サルや鳥類、クマ等様々な動物の飼育のほかワラビーの人工保育といった繁殖にも携わる。

【到達目標】

・飼養管理：各種動物に合った飼養管理を理解し、説明できるようになる。
・掃除：限られた時間内での素早く丁寧な掃除ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について知る①
2回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について知る②
3回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について知る③
4回目	飼育管理の実践①
5回目	飼育管理の実践②
6回目	飼育管理の実践③
7回目	飼育管理の実践④
8回目	飼育管理の実践⑤
9回目	飼育管理の実践⑥
10回目	飼育管理の実践⑦
11回目	飼育管理の実践⑧
12回目	飼育管理の実践⑨
13回目	飼育管理の実践⑩
14回目	飼育管理の実践⑪
15回目	飼育管理の実践⑫、前期の振り返り
準備学習 時間外学習	授業終了後に報告書を作成し、内容を振り返る。また、次回授業に向け目標を立てること。
評価方法	授業内実習評価（協調性、コミュニケーション力、発言力、レポート記入力）80%、出席率20%

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料
参考書：滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の飼養管理」、「イラストで見る動物の体のしくみ」
　　社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 繁殖・飼料・病気」

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	小動物飼育演習Ⅰ （Practical Small Animal Care-Ⅰ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	椎場 瞳
		授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業		（4）	曜日・時限	随時（1週間×2回）

【授業の学習内容】

3年動物園＆水族館エンターテイメント専攻と小動物飼育演習ゼミ生をスチューデントティーチャーとし、小動物を中心に体のしくみや生態を理解した上で飼育管理を学ぶ。

※担当教員実務経験：サファリパークにて飼育員として従事。サルや鳥類、クマ等様々な動物の飼育のほかワラビーの人工保育といった繁殖にも携わる。

【到達目標】

・飼養管理：各種動物に合った飼養管理を理解し、説明できるようになる。
・掃除：限られた時間内での素早く丁寧な掃除ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる①
2回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる②
3回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる③
4回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる④
5回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑤
6回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑥
7回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑦
8回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑧
9回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑨
10回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑩
11回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑪
12回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑫
13回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑬
14回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑭
15回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑮、後期の振り返り
準備学習 時間外学習	授業終了後に報告書を作成し、内容を振り返る。また、次回授業に向け目標を立てること。
評価方法	授業内実習評価（協調性、コミュニケーション力、発言力、レポート記入力）80%、出席率20%

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料
参考書：滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の飼養管理」、「イラストで見る動物の体のしくみ」
　　社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 繁殖・飼料・病気」

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	水生生物飼育管理Ⅰ （ Aquatic Animals and Plants Rearing Ⅰ ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	田中　侑弥
		授業形態	演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日4,5時限

【授業の学習内容】

観賞魚水槽の立ち上げから飼育、メンテナンスを通して、淡水性観賞魚飼育の基本を実践的に学ぶ。

※担当教員実務経験：水族館にて9年間、水生生物等の飼育業務に従事。

【到達目標】

淡水性観賞魚の基本を身に着けるとともに、器具の管理方法、メンテナンス方法、病気の治療方法を習得する。

（具体的な目標）
①水槽の設置、器具のセッティングなど飼育器具の種類・取扱いについて説明できる。
②日々の管理（換水・給餌・メンテナンス）について説明できる。
③トラブル発生時（病気の発生・魚の死亡・飼育水の汚濁・コケの発生）の対応が適切に行える。

授業計画・内容	
1回目	実習室設備説明　注意事項　各自水槽設備確認　授業内容評価方法説明
2回目	濾過装置の構造説明　配管作業
3回目	フィルター呼び水方法解説・注水作業・呼び水
4回目	メンテナンス器具取扱い方法　コケ落とし　換水作業方法
5回目	メンテナンス実践＋評価
6回目	生体導入　水合わせ方法　／エサの種類　給餌方法＋評価
7回目	飼育管理演習①
8回目	濾過装置メンテナンス方法
9回目	飼育管理演習②
10回目	コケ・シダ、活着系水草の取り扱い/魅せ方
11回目	飼育管理演習③
12回目	飼育管理演習④解説
13回目	Co2添加方法解説
14回目	飼育管理演習④+評価試験（水槽評価）
15回目	飼育管理演習⑤+Co2配管
準備学習 時間外学習	担当水槽の点検・足し水・水槽回りの清掃作業を常に行い、環境維持と美化に務める。 生体導入後は、毎日の給餌と観察を行い、生体の健康な育成に努めること。
評価方法	■授業内評価（100%）・・・出席率・ガラス面と器具清掃・底床、器具管理・生体の健康状態・水の透明度・周辺美化

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト
レイアウト制作設備
必要機材及びレイアウト素材

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	水生生物飼育管理Ⅰ （ Aquatic Animals and Plants Rearing Ⅰ ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	田中　侑弥
		授業形態	演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日4,5時限

【授業の学習内容】

観賞魚水槽の立ち上げから飼育、メンテナンスを通して、淡水性観賞魚飼育の基本を実践的に学ぶ。

※担当教員実務経験：水族館にて9年間、水生生物等の飼育業務に従事。

【到達目標】

水草の育成からレイアウトの基本を理解し、観賞価値の高い水槽を制作できる。

（具体的な目標）
①水草の種類、植栽方法　管理方法を説明できる。
②水草を育成するための器具の仕組み、取扱いを理解する。
③レイアウトの基本を理解し、制作　管理ができる。

授業計画・内容	
1回目	水草レイアウトの基本構図　流木
2回目	水草レイアウトの基本構図　石組
3回目	前景中景後景　それぞれに適した水草
4回目	水草のカット　トリミング方法
5回目	トラブル時の対処方法について・コケの駆除とメンテナンスフィッシュ
6回目	メンテナンス　演習　レイアウト指導　　水槽評価
7回目	メンテナンス　演習　レイアウト指導　　水槽評価
8回目	メンテナンス　演習　レイアウト指導　　水槽評価
9回目	メンテナンス　演習　レイアウト指導　　水槽評価
10回目	メンテナンス　演習　レイアウト指導　　水槽評価
11回目	メンテナンス　演習　レイアウト指導　　水槽評価
12回目	メンテナンス　演習　レイアウト指導　　水槽評価
13回目	メンテナンス　演習　レイアウト指導　　水槽評価
14回目	メンテナンス　演習　レイアウト指導　　期末評価
15回目	メンテナンス　演習　レイアウト水槽撤去　　総評　評価発表
準備学習 時間外学習	担当水槽の点検・足し水・水槽回りの清掃作業を常に行い、環境維持と美化に務める。 生体導入後は、毎日の給餌と観察を行い、生体の健康な育成に努める。 水草の生育状況を観察し、状況に応じた対処を行うこと。
評価方法	■授業内評価（50%）・・・出席率・ガラス面と器具清掃・底床、器具管理・生体の健康状態・水の透明度・周辺美化 ■作品評価（50%）・・・・・・・全体的な印象度、完成度・構図評価・レイアウトの基本を押さえているかどうか・適切な水草の植栽と育成

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト
レイアウト制作設備
必要機材及びレイアウト素材

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	POPデザイン （ Point of Purchase Advertising Design and Display ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	西　綾子
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ授業	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日5時限

【授業の学習内容】

POPの技術・企画力・デザイン力を基礎から学ぶ。
POPデザインの基礎文字（ゴシック体）を丸ペンで描く。
プラスPOP・イメージPOP・告知POPなどをPOPの意味と目的を理解しながら描く。

※担当教員実務経験：POPライターとして全国チェーン企業・ショッピングセンターにて店内販促物（POP・ポスター）作成に従事。

【到達目標】

POPの意味を理解したうえで、POPを作成
ショップでのプライスPOPやショップ以外の職場でのPOP（ポスターなど）も迷わず描けるようになる。

授業計画・内容	
1回目	ガイダンス・・・・POPデザインの説明(POPデザインの意味・授業の流れ)
2回目	ペンの取り扱い説明 ／ 線(縦・横)の描き方・ゴシック体(文字)の描き方・描き順
3回目	基本(線)ゴシック体文字の「あ」から1画づつ解説しながら描いていく。定規の持ち方、レイアウトの取り方
4回目	景品表示法について　　自分の名前(漢字・ゴシック体)の描き方とプラスPOP（品名・規格・売価）
5回目	基本(線)(文字)　プライスPOP(メーカー名・品名・規格・売価)
6回目	基本(線)(文字)　コピー(キャッチフレーズの描き方)付　プラスPOP
7回目	基本(線)(文字)　プライスPOP(コピー・メーカー名・品名・規格・売価)
8回目	基本(線)(文字)　プライスPOP(原産国・特徴・犬種名・売価6桁)　吹き出しの描き方と漢字
9回目	基本(線)(文字)　文字は手本なしで描いてみる。これまでの復習（プラスPOP）
10回目	基本(線)(文字)　プラスPOP　「税込」入り。「税込」の描き方
11回目	基本(線)(文字)　プライスPOPの復習（税込入り）
12回目	基本(線)(文字)のテスト（次のステップにいけるかどうかの判定の為）
13回目	角ペンの使い方、角ペンの基本（線・曲線）　中字文字B5サイズの告知POP練習　※基本（線）・（文字）の復習
14回目	評価　基本(線)(文字)　プラスPOP　※基本(線)(文字)のテスト
15回目	角ペン基本（線・曲線）　中字文字B5サイズの告知POP完成　描き方・色のぬり方
準備学習　時間外学習	前回の復習（授業内で完成できずに終えた部分など） 授業内の講師作成プリントを再度配布し、家庭学習として次回の授業までに終了しておくこと。
評価方法	作品提出　＝　基本（線・文字）　プラスPOP（コピー・税込・入り） ゴシック文字が描けているか（基本を守って描いているか） プラスPOPを基本に基いて描けているか 授業内の授業プリント評価40% 作品提出(学期末評価)60%

【使用教科書・教材・参考書】

POPゴシック文字のお手本（講師作成）・練習用紙
水性顔料（POP用）のペン・定規

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	POPデザイン（ Point of Purchase Advertising Design and Display ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	西　綾子
		授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ授業	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	月曜日5時限

【授業の学習内容】

角ペンの使い方・描き方を基本から。
イメージPOPなどをPOPの意味と目的を理解しながら描く。（企業課題）
就職面接に持参できる作品を完成させる。

※担当教員実務経験：POPライターとして全国チェーン企業・ショッピングセンターにて店内販促物（POP・ポスター）作成に従事。

【到達目標】

POPの意味を理解したうえで、POPを作成
ショップでのプライスPOPやショップ以外の職場でのPOP（ポスターなど）も迷わず描けるようになる。
（1年間でPOP検定3級レベルの力をつける）

授業計画・内容	
1回目	角芯ペンで基本(線　縦横・曲線/中文字・漢字)・ゴシック体角ペンでの描き方（あ行から）・イメージPOPの描き方・レイアウト
2回目	角芯ペン基本　中字文字　カット・イラストの描き方・ゴシック体角ペンでの描き方（前回の続き）・イメージPOPの完成
3回目	角芯ペン基本　中字中文字　カットイラスト塗り方(色)・ゴシック体角ペンでの描き方（前回の続き）・商品紹介POP　レイアウト
4回目	角芯ペン基本　中字中文字　商品紹介(説明)POPイラスト付き完成
5回目	角芯ペン基本　中字中文字　企業課題の練習①
6回目	角芯ペン基本　中字中文字　企業課題の練習②
7回目	角芯ペン基本　中字中文字　企業課題　　依頼文の読み取り方　レイアウト
8回目	角芯ペン基本　中字中文字　企業課題　完成に向けて、タイトル描く
9回目	角芯ペン基本　中字中文字　企業課題　完成　　自分の名前・専攻名の描き方
10回目	角芯ペン基本　中字中文字　動物紹介POP　下書きとレイアウト
11回目	角芯ペン基本　中字中文字　動物紹介POP　完成
12回目	角芯ペン基本　中字中文字　（試験に向けて）復習
13回目	角ペン基本と中字中文字とプラスPOPのテスト　イベントポスターのレイアウト
14回目	イベントポスター完成（試験）
15回目	ゴシック体の漢字・ローマ字の描き方　　角ペンゴシック体のカタカナ50音
準備学習　時間外学習	前回の復習（授業内で完成できずに終えた部分など） 授業内の講師作成プリントを再度配布し、家庭学習として次回の授業までに終了しておくこと。
評価方法	前期での基本を守りながら、学んだことを応用しているか 見る側（お客様）の立場で描かれているか POPに使用するイラスト（カットイラスト）になっているか（色彩も重視） 授業内の授業プリント評価40% 作品提出(学期末評価として企業課題)60%

【使用教科書・教材・参考書】

水性顔料（POP用）のペン　　定規　　色鉛筆
練習用紙（講師作成）

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	ショップ経営理論 （Petshop Management Theory）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	安田　桂三
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日 3時限

【授業の学習内容】

ペットショップにおける運営、経営、流通、集客、マーケティングに関するマネジメントの理論を学ぶ。

※担当教員実務経験：エキゾチックアニマルペットショップ「GROWING」の創業メンバーとして、店舗の設備、デザインを担当。その後管理業務、接客、取引に関する店舗営業の大部分を担当。水族館や大型ショッピングモール等と協力してのイベント運営などにも従事。
現在は生体の販売、繁殖、輸入等に従事。

【到達目標】

ペットショップを運営するために必要な基礎知識を身につけ、学生の進路目標を早い段階からより具体的にし、必要な能力を磨くための指針を得る。

授業計画・内容	
1回目	授業の紹介
2回目	ペットショップという業態の市場について
3回目	ペットショップとは・大まかな仕事内容等
4回目	ペットショップ開業のために必要な資格・法律
5回目	販売する動物を入荷する方法・仕入れ・輸入
6回目	動物の金額設定について
7回目	ペットショップ経営における支出
8回目	ペットショップ経営における利益獲得
9回目	ペットショップ経営における集客
10回目	ペットショップ経営で起こりうるトラブル・リスク
11回目	ペットショップ運営における従業員に求められること
12回目	ペットショップ経営において、経営者に求められること
13回目	ペットショップが販売の他に併用して行っているサービスについて
14回目	ペットショップに類似した資格で行われている店舗（ブリーダー・ペットカフェ等）
15回目	講義全体の統括と、後期授業に向けて
準備学習 時間外学習	予習の難しい教科のため、講義後に自分の進路目標と照らし合わせながら、復習をすること。
評価方法	レポートの内容（50%）と、授業への参加意欲（50%）を見て評価。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	ショップ経営理論	必修選択	必修	年次	1	担当教員	安田　桂三
	（Petshop Management Theory）	授業形態	講義	総時間（単位）	30	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	金曜日 3時限

【授業の学習内容】

ペットショップにおける運営、経営、流通、集客、マーケティングに関するマネジメントの理論を学ぶ。

※担当教員実務経験：エキゾチックアニマルペットショップ「GROWING」の創業メンバーとして、店舗の設備、デザインを担当。その後管理業務、接客、取引に関する店舗営業の大部分を担当。水族館や大型ショッピングモール等と協力してのイベント運営などにも従事。
現在は生体の販売、繁殖、輸入等に従事。

【到達目標】

ペットショップや、それに準ずるビジネスを展開している企業を実際に訪問し、ペットショップを運営するために必要な基礎知識を身につけ、学生の進路目標を早い段階からより具体的にし、必要な能力を磨くための指針を得る。

授業計画・内容	
1回目	校外学習のためのオリエンテーション①勉強したいビジネス、行きたい企業について
2回目	校外学習のためのオリエンテーション②アポイントメントの結果を受けての、訪問起業決め
3回目	校外授業①の準備（企業の事前調べ・質問の用意、添削）
4回目	校外学習①
5回目	校外学習①の感想、レポートの提出
6回目	校外学習②のためのオリエンテーション（アポイントメント）
7回目	校外授業②の準備（企業の事前調べ・質問の用意、添削）
8回目	校外学習②
9回目	校外学習②の感想、レポートの提出
10回目	校外学習③のためのオリエンテーション（アポイントメント）
11回目	校外授業③の準備（企業の事前調べ・質問の用意、添削）
12回目	校外学習③
13回目	校外学習③の感想、レポートの提出
14回目	講義全体をうけてのオリエンテーション
15回目	レポート提出と、統括
準備学習 時間外学習	予習の難しい教科のため、講義後に自分の進路目標と照らし合わせながら、復習をすること。
評価方法	レポートの内容（60%）と、授業への参加意欲（40%）を見て評価。

【使用教科書・教材・参考書】

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	進級課題 （ Level Advancement Study ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	吉丸　優麻
		授業形態	演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学んだ専門知識や技術の集大成として、学習成果が進級に値する実力を修得しているか課題に取り組み、課題の研究発表または実技の披露を行う

【到達目標】

学習成果（知識・技術）をパワーポイントやポスター展示、実技披露として発表。

授業計画・内容	
1回目	進級課題とは①　～進級課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	進級課題とは②　～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	進級課題の進め方　～発表までの流れやスケジューリングの確認～
4回目	テーマの決定　～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習①　～自分（班）のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習②　～途中経過の報告～
7回目	実践学習③　～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備①　～パワーポイント作成～
9回目	発表準備②　～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③　～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④　～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤　～パワーポイント作成～
13回目	発表①
14回目	発表②
15回目	進級課題の振り返り　～各自（班内）で意見交換、発表～
準備学習 時間外学習	各自（各班）で意見交換を随時行う。また、もらった意見を次に繋げる学習をすること。
評価方法	・発表内容：80% ・課題への参加度：20%

【使用教科書・教材・参考書】

専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	業界研修	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	各施設実務従事者
	（ Business Internship ）	授業形態	演習	総時間（単位）	90	開講区分	随時
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業		（6）	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学生が目指す業界の企業または、それに準ずる組織・施設・個人等で研修(インターンシップ)を行う。このカリキュラムは業界のプロフェッショナルになるという大きな目標を前に、自身の進路を明確にするとともに各業界施設での「身構え・気構え・心構え」を知り、就職活動とする。

※担当教員実務経験：研修先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

・業界へのイメージと現実のギャップを軽減させる。
・実際の動物業界での研修を通じ、仕事の流れや職場でのコミュニケーションを図ることができるようになる。
・社会の成り立ち、社会人としてのマナーやルールを実体験で学び身に付ける。
・自らの「キャリア」をデザインできる。

授業計画・内容	
1回目	インターンシップ参加における目的の確認と目標設定
2回目	企業研究、履歴書作成
3回目	インターンシップ参加
4回目	インターンシップ参加
5回目	インターンシップ参加
6回目	インターンシップ参加
7回目	インターンシップ参加
8回目	インターンシップ参加
9回目	インターンシップ参加
10回目	インターンシップ参加
11回目	インターンシップ参加
12回目	インターンシップ参加
13回目	インターンシップ参加
14回目	研修ノートのまとめ、お礼状作成、レポート作成
15回目	報告会
準備学習 時間外学習	・事前に企業研究、インターンシップ先の選定活動 ・インターンシップ後の研修ノートまとめ、レポート作成
評価方法	・研修ノート内容及び提出(80%) ・インターンシップ先企業からの評価表（20%） これらを総合的に判断して評価

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	特別講義＆見学 （Special Lecture）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 （1）	開講区分	随時
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。
学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。

※担当教員実務経験：訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

・動物業界で必要な知識や技術を理解し、身に付ける。
・動物業界で必要な人間力を理解し、身に付ける。
・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。
・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。

授業計画・内容	
1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習 ・講義後もしくは見学後のレポートのまとめ
評価方法	・レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	グローバルコミュニケーション （ Global Communivcation ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	120 （ 8 ）	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日1時限、水曜日4時限、金曜日1・3時限

【授業の学習内容】

好きな事について話すことができる。商品のレビューを読み、書くことができる。
平日、週末のアクティビティについて話すことができる。日常のアクティビティについてのレポートを読む、また書くことができる。
道順について尋ねる、また教えることができる。場所についての特徴について読み、書くことができる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。
自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。
会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

授業計画・内容			
1回目	個人的な情報をたずねる・説明する表現を学ぶ。Be 動詞を学ぶ、復習する。疑問代名詞[What]の使い方を学ぶ	オンデマンド	対面授業と連動
2回目	個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く。大文字、ピリオドの使い方を学ぶ。	オンデマンド	対面授業と連動
3回目	「はい」「いいえ」で答える質問における [Is / Are]の使い方を学ぶ。家族について話す。	オンデマンド	対面授業と連動
4回目	年齢、誕生日に関する表現を学ぶ言い直すに関する言葉を学ぶ。	オンデマンド	対面授業と連動
5回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「友達や家族についての情報を比較する」	オンデマンド	
6回目	[it is]の使い方を学ぶ。家具について話す。	オンデマンド	対面授業と連動
7回目	ホームシェアについてのメールを読む、書く。	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。中間試験。
8回目	「現在形」陳述文を学ぶ (I, you, we)。好きな事について話す。	オンデマンド	中間試験解説、前期後半に向けて
9回目	連絡を取り合う方法について話す。相手の話を聞いていることを示す。	オンデマンド	対面授業と連動
10回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「好きな音楽について」	オンデマンド	
11回目	「現在形」疑問文（yes/no / WH-question)を学ぶ。時間・ルーティンについて話す。	オンデマンド	対面授業と連動
12回目	日常のアクティビティについてのレポートを読む、書く。	オンデマンド	対面授業と連動
13回目	[There (is, are), (a lot, some no)]の使い方を学ぶ。町にある場所について話す。	オンデマンド	対面授業と連動
14回目	道順について尋ねる、また教える際に使う表現を学ぶ情報を確認する。	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。
15回目	前期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。
評価方法	実技試験50% 授業態度50%

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE1

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	グローバルコミュニケーション （ Global Communivcation ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	120 （ 8 ）	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日1時限、水曜日4時限、金曜日1・3時限

【授業の学習内容】

週末に向けたアウトドア活動の計画を立てることができる。オンラインでの招待状を読み、書くことができる。
過去についての場所や出来事、過去の人について述べることができる。思い出の品についての記事やメールを読む、また書くことができる。
食べた食事について話すことができる。レストランのレビューを読む、また書くことができる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。
自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。
会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

授業計画・内容			
1回目	「現在進行形」疑問文を学ぶ旅行について話す。	オンデマンド	対面授業と連動
2回目	最近の出来事についてのブログ記事を読む、書く。	オンデマンド	対面授業と連動
3回目	[Can / Can't](能力)を使う陳述文・疑問文を学ぶ。自身のスキルや能力について話す。	オンデマンド	対面授業と連動
4回目	自分の意見を述べる。自分はある仕事の適任者であることを説明する。	オンデマンド	対面授業と連動
5回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「自国民が何が得意かについて話す」	オンデマンド	
6回目	[like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ。使い分けがわかる旅行計画を立てる。	オンデマンド	対面授業と連動
7回目	旅行ガイドを読む、また場所の説明を書く。	オンデマンド	振り返り。中間試験
8回目	[be going to](陳述文)の使い方を学ぶ。週末に向けたアウトドア活動の計画について話す。	オンデマンド	中間試験解説、後期後半に向けて
9回目	あることをやってはいけない理由を説明する。	オンデマンド	
10回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町での楽しい週末を計画し、発表する」	オンデマンド	対面授業と連動
11回目	「過去形」(was / were)の疑問文を学ぶ。色、記憶について話す。	オンデマンド	対面授業と連動
12回目	思い出の品についての記事やメールを読む、書く。	オンデマンド	対面授業と連動
13回目	「過去形」の陳述文を練習する。スナック、軽食について話す。	オンデマンド	対面授業と連動
14回目	[so / really] (強調する)の使い方を学ぶ。食べ物・飲み物を注文する。	オンデマンド	振り返り
15回目	後期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。
評価方法	実技試験50% 授業態度50%

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE1

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	海外実学研修	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	現地各施設実務従事者
	（Overseas Practical Training）	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業		（ 4 ）	曜日・時限	未定

【授業の学習内容】

国際教育の一環として、実際に海外での施設見学、特別講義、自由行動を通し国際性を身に付け、グローバル化する現代社会で活躍できる人材育成を目的とする。

※担当教員実務経験：海外における現地実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・最先端の動物、環境に関わる知識や技術を理解し身に付ける。
・これからの業界に必要な考え方を理解し身に付ける。
・世界における日本の立場を理解する。
・自身のキャリアをデザインする。

授業計画・内容	
1回目	訪問国、訪問施設を調べまとめる、班ごとに発表する
2回目	訪問国での施設見学、特別講義
3回目	訪問国での施設見学、特別講義
4回目	訪問国での施設見学、特別講義
5回目	訪問国での施設見学、特別講義
6回目	訪問国での施設見学、特別講義
7回目	訪問国での施設見学、特別講義
8回目	訪問国での施設見学、特別講義
9回目	訪問国での施設見学、特別講義
10回目	訪問国での施設見学、特別講義
11回目	訪問国での施設見学、特別講義
12回目	訪問国での施設見学、特別講義
13回目	訪問国での施設見学、特別講義
14回目	研修ノートのまとめ、レポート作成
15回目	海外実学研修の振り返り、発表、まとめ
準備学習 時間外学習	・【事前学習】訪問国、訪問施設を調べまとめる ・【事後学習】訪問施設を研修ノート及びレポートにまとめる
評価方法	・研修ノート、レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去の海外実学研修ノート

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	イベント運営 （Event Management）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各イベント実務従事者
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 （1）	開講区分	随時
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。
企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。

※担当教員：各イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・企画立案、運営ができるようになる。
・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。
・接客を知り、実践できるようになる。
・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。
・予算管理を実践し習得する。
・スケジューリングを理解し、実践できる。

授業計画・内容	
1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・各自、目的に沿った案を考える ・イベント後レポートにまとめる
評価方法	・準備（50%） ・レポート(50%)

【使用教科書・教材・参考書】

過去のイベント資料

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	特別課外活動 （Club Activities）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各クラブ顧問
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学友会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。

【到達目標】

・チームワークを身に付ける。
・計画性を身に付ける。
・予算管理を身に付ける。
・マネジメントを理解し身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・日報や日誌、報告書を作成すること。
評価方法	・クラブ活動態度(100%)

【使用教科書・教材・参考書】

・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	ボランティア活動	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	各施設実務従事者
	（Volunteer Work）	授業形態	演習	総時間（単位）	15	開講区分	随時
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業		(1)	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。

※担当教員：各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける。
・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去のボランティア活動報告書

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	資格取得講座 （Seminar for a Qualification）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	吉丸　優麻
		授業形態	演習	総時間（単位）	15	開講区分	随時
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業		(1)	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各専攻で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。

【到達目標】

・各検定試験、資格試験の合格

授業計画・内容	
1回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。
評価方法	資格取得、検定合格（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去の各検定、資格教本

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	キャリアプランニングⅡ （ Career Planning Ⅱ ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	吉丸　優麻
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 （2）	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日４時限

【授業の学習内容】

自分自身の進路（自分らしく生きる道）を見つけるために、本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせば良いのか「気づき」を得る。
また、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えを理解し、自己管理と協働作業が実践的にできるようになる。

【到達目標】

セルフマネジメント（自己管理）を実践できる。
チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる。
卒業後の進路を考え自己のキャリアデザインに取り組む。
卒業課題のテーマを定め取り組む。

授業計画・内容	
1回目	集団（クラス）づくりの理解と実践　（集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う）、クラス組織決め、クラス目標決め
2回目	セルフマネジメント（自己管理）　各自の目標決め、学園祭の話し合い
3回目	チームマネジメント①　学園祭の話し合い、GWの過ごし方、漢字テスト①
4回目	チームマネジメント②　学園祭の話し合い、GWの振り返り
5回目	チームマネジメント③　クラスにおける就活の動き、漢字テスト②
6回目	「キャリアデザイン」 ①　：　合同企業説明会に向けての動き、学園祭の話し合い
7回目	「キャリアデザイン」 ②　：　合同企業説明会、学園祭について、漢字テスト③
8回目	「キャリアデザイン」 ③　：　合同企業説明会及び学園祭の振り返り①
9回目	「キャリアデザイン」 ④　：　合同企業説明会及び学園祭の振り返り②、漢字テスト④
10回目	「キャリアデザイン」 ⑤　：　夏季業界研修準備　Ⅰ　就職ポートフォリオ準備
11回目	グループワーク：成功の原則～卒業生たちから見る行動の原則～
12回目	「キャリアデザイン」 ⑦　：　夏季業界研修準備　Ⅲ　夏休みの動きについて、スポーツフェスタの話し合い、動物愛護フェスティバル
13回目	「集団での役割」の理解と実践　①　＜スポーツフェスタ準備活動＞　・　チームマネジメント（協働作業）　Ⅰ、漢字テスト⑥、動物愛護フェスティバル②
14回目	評価週、前期の振り返り及び後期に向けて、動物愛護フェスティバル③
15回目	「集団での役割」の理解と実践　②　＜スポーツフェスタ準備活動＞　・　チームマネジメント（協働作業）　Ⅱ、漢字テスト⑦、動物愛護フェスティバル④
準備学習 時間外学習	・日々の学校生活を学習ポートフォリオに残す ・事前課題などの各種レポートを書く ・就職ガイダンスや企業説明会など、就職関連のイベントに参加する ・動物施設での校外学習に参加する ・学校行事に参加する ・世の中の時事に関心を向ける
評価方法	出席率…50% 授業への参加態度・課題などの提出と記入内容…30% 試験…20%

【使用教科書・教材・参考書】

・新社会人の基礎力109（滋慶出版）

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	キャリアプランニングⅡ （ Career Planning Ⅱ ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	吉丸　優麻
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 （2）	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日4時限

【授業の学習内容】

自分自身の進路（自分らしく生きる道）を見つけるために、本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせば良いのか「気づき」を得る。
また、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えを理解し、自己管理と協働作業が実践的にできるようになる。

【到達目標】

セルフマネジメント（自己管理）を実践できる。
チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる。
卒業後の進路を考え自己のキャリアデザインに取り組む。
卒業課題のテーマを定め取り組む。

授業計画・内容	
1回目	「キャリアデザイン」⑧ ： 社会人基礎力　Ⅰ、漢字テスト⑧、動物愛護フェスティバル⑤
2回目	「キャリアデザイン」⑨ ： 社会人基礎力　Ⅱ、漢字テスト⑨、動物愛護フェスティバル⑥
3回目	「キャリアデザイン」⑩ ： 社会人基礎力　Ⅲ、漢字テスト⑩、動物愛護フェスティバル⑦
4回目	「キャリアデザイン」⑪ ： 社会人基礎力　Ⅳ、漢字テスト⑪、動物愛護フェスティバル⑧
5回目	「キャリアデザイン」⑫ ： 社会人基礎力　Ⅴ、漢字テスト⑫、動物愛護フェスティバル⑨
6回目	「キャリアデザイン」⑬ ： 社会人基礎力　Ⅵ、動物愛護フェスティバル振り返り
7回目	卒業課題　① ： 卒業課題のテーマに沿った取り組みを行う　Ⅰ、漢字テスト⑬
8回目	卒業課題　② ： 卒業課題のテーマに沿った取り組みを行う　Ⅱ
9回目	卒業課題　③ ： 卒業課題のテーマに沿った取り組みを行う　Ⅲ、漢字テスト⑭
10回目	卒業課題　④ ： 卒業課題のテーマに沿った取り組みを行う　Ⅳ
11回目	グループワーク：成功の原則～卒業生たちから見る行動の原則～
12回目	クラス内発表①
13回目	クラス内発表②
14回目	クラス内発表③
15回目	学校生活2年間の振り返り
準備学習 時間外学習	・日々の学校生活を記録に残す ・OB/OGセミナー、合同企業説明会等就職関連イベントに参加する ・動物施設での校外学習に参加する ・事前課題など各種レポートを書く
評価方法	出席率…50% 授業への参加態度・課題などの提出と記入内容…30% 試験…20%

【使用教科書・教材・参考書】

・新社会人の基礎力109（滋慶出版）

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	プレゼンテーション (Presentation)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	田代　マキ
		授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	火曜日　5時限

【授業の学習内容】

社会人としての振る舞いを身に付け、態度、表現力の向上を目指し、
ワークを通して自己肯定感、他者肯定感を高め、仕事遂行能力を高める。

※担当教員実務経験：キャリアカウンセラー（技能士2級）、精神保健福祉士、公認心理師、学校関係へのキャリヤ教育や企業研修を通して社会人基礎力の授業や管理職研修を行い、就職支援からリーダシップの在り方まで、働く人の心と職場環境を整える活動を展開している。

【到達目標】

元気な挨拶ができるようになる。
相手の立場を考えて話す力を身に付けることができる。
文章組み立て力を身に付けることができる。
周りと協力する力を身に付けることができる。
復習力を身に付けることができる。
仕事遂行能力を身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	授業の内容と意義
2回目	学校で身に付けておくもの・自己分析・アウトカム
3回目	言語コミュニケーションと非言語的コミュニケーションワーク①
4回目	言語コミュニケーションと非言語的コミュニケーションワーク②
5回目	言葉遣い確認ワーク　グループワーク
6回目	仕事遂行能力ワーク　グループワーク
7回目	中間評価
8回目	聞くと聴くの違い　きき上手のポイント
9回目	信頼と信用の違い・ラポール形成ステップ
10回目	他己紹介の意義・準備。質問の仕方
11回目	好感音トレーニング、表情トレーニング
12回目	他己紹介
13回目	前期自己分析・アウトカム評価
14回目	前期試験
15回目	前期振り返り
準備学習 時間外学習	課題により事前学習あり。
評価方法	プレゼン力：40% 傾聴力：30% 筆記試験：30%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	プレゼンテーション （ Presentation ）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	田代　マキ
		授業形態	演習	総時間 （単位）	30 （2）	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日　5時限

【授業の学習内容】

社会人としての振る舞いを身に付け、態度、表現力の向上を目指し、
ワークを通して自己肯定感、他者肯定感を高め、仕事遂行能力を高める。

※担当教員実務経験：キャリアカウンセラー（技能士2級）、精神保健福祉士、公認心理師、学校関係へのキャリヤ教育や企業研修を通して社会人基礎力の授業や管理職研修を行い、就職支援からリーダシップの在り方まで、働く人の心と職場環境を整える活動を展開している。

【到達目標】

元気な挨拶ができるようになる。
相手の立場を考えて話す力を身に付けることができる。
文章組み立て力を身に付けることができる。
周りと協力する力を身に付けることができる。
復習力を身に付けることができる。
仕事遂行能力を身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	後期目標設定
2回目	ストレス対策　性格の作られ方
3回目	報告の仕方　PREP法を身に付ける。
4回目	PREP法を用いて課題プレゼンテーション準備
5回目	課題プレゼンテーション
6回目	仕事遂行能力ワーク
7回目	中間評価
8回目	接客態度トレーニング①
9回目	接客態度トレーニング②
10回目	PDCAサイクルサイクル　日常編
11回目	PDCAサイクルサイクル　キャリアデザイン編
12回目	仕事遂行能力ワーク
13回目	一年間のまとめ
14回目	後期試験
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	課題により事前学習あり。
評価方法	プレゼン力：40% 傾聴力：30% 筆記試験：30%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	キャリアサポートアップ （ Improving Career Skills ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	中山　麻見/中村　里佳
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 （2）	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日3時限

【授業の学習内容】

就職活動の基本である自己分析と企業研究の必要性を学び、志望動機、自己PRを完成させ、履歴書を自立して作成できるようになる。
また発声練習やグループワークを通して、効果的な自己表現を可能にし、自信を持って面接に挑み、結果を手にしていく。

※担当教員：各種セミナー（話し方、傾聴、新入社員研修等）を通して人材育成事業に取り組む企業より就職講座・コミュニケーション講座等に従事している講師を招き、授業を実施。

【到達目標】

・自己分析（理解）によって、自分の強み、弱みを効果的に伝えられるようになる。
・履歴書、エントリーシートが自立して書けるようになる。
・自己分析、企業研究によって、自分の目指す企業のマッチングが可能になり、適切な面接対策ができる。
・個人面接、集団面接など、様々なケースを想定し、ロールプレイングを通じて、自己表現に自信が付く。
・小論文の基本的書き方を習得する。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション　就職活動において現在地を確認し、ゴール設定ができる
2回目	自分の適性を知る　分析ツールを使って強みの原点を把握できる
3回目	自己分析の基礎①希望業種に内定するために現状を知り、就職活動の全体像を掴むことが出来るようになる
4回目	自己分析の基礎②希望業種に内定するために現状を知り、就職活動の全体像を掴むことが出来るようになる
5回目	企業研究・業界分析の仕方について①　グループワークを行い広い視野を養うことができる
6回目	履歴書の書き方　　形式を遵守した上で、自分らしい履歴書が書けるようになる。
7回目	面接対策①　面接の全体像が把握できる
8回目	面接対策②　見た目・中身の両方に対する戦略が分かる
9回目	面接対策③　模擬面接　お互い分析、フィードバックすることで客観的に自分を把握することができる
10回目	WEB面接対策
11回目	適性検査対策
12回目	論理的文章の書き方　作文・小論文　①
13回目	論理的文章の書き方　作文・小論文　②
14回目	試験
15回目	総まとめ
準備学習 時間外学習	配布物で予習・復習を行うこと。
評価方法	試験80%　提出物20%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルプリント

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	社会人基礎力 （Essential Competencies for the Working Adult）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	榎本　篤子
		授業形態	演習	総時間 （単位）	30 （2）	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ　専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日3時限

【授業の学習内容】

経済産業省提唱の社会人基礎力の12の能力要素に沿って、ワークを通して自己肯定感、他者肯定感を高め、問題解決能力を磨く。

※担当教員実務経験：国家資格1級キャリアコンサルティング技能士、キャリアカウンセラー。教育機関や国の若者就職支援センターでのキャリア教育、相談に従事。
企業研修や組織でのカウンセリングも行う。コミュニケーションの重要性を重視し、人の成長をサポートする人材教育に幅広く携わっている。

【到達目標】

主体性を発揮できるようになる。
考える力を身につける。
チームで働く意識を強める。
計画、実行、忍耐力を身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	社会人基礎力の説明
2回目	規律性とビジネスマナー　＊ルールとマナー
3回目	課題発見力 ① 個人ワークとグループワーク 気付きの習慣を磨く
4回目	課題発見力 ② 個人ワークとグループワーク
5回目	状況把握力 ①提案力改善案スピーチ
6回目	状況把握力 ②提案力改善案スピーチ
7回目	中間評価
8回目	計画力 優先順位の付け方 PDCAサイクルについて
9回目	身近なPDCAサイクル発表 他者の行動を参考 モデリングする。
10回目	スモールステップからの現実可能なキャリアデザインを描く
11回目	実行力 マンパワーワーク
12回目	柔軟性　9人のポジション
13回目	働きかけ力 社会人としての役割を知る。
14回目	評価テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	課題により準備学習あり。また、少しずつ知識を積み重ねてできる自分を確信するために、毎時間最初の時間を使って今までの前回までの学習の復習問題を発表します。 そのために毎回の事前学習、事後復習を必須とする。
評価方法	参加態度50% 傾聴力30% 筆記試験20%

【使用教科書・教材・参考書】

講師オリジナルテキスト
社会人基礎力講座（日経BP社）7つの習慣（宝島社）PDCAノート（フォレスト出版）他

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	グローバルコミュニケーション （Global Communivcation）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	120 (8)	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日1時限、水曜日4時限、木曜日1-3時限、金曜日1・3時限

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、
また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

知人・家族について話すことができる。職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。毎日していることについて話すことができる。
ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。今していることについて話すことができる。サービス業界の会社へのメッセージを読む、
また書くことができる。招待する、またそれに応えることができる。イベントへの招待を読む、また書くことができる。人生の中での過去のイベントに
ついて話すことができる。新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書くことができる。
店内で欲しいものについて述べることができる。新しい商品の説明を読む、またVlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書くことができる。

授業計画・内容			
1回目	所有代名詞(whose)を学ぶ	オンデマンド	対面授業と連動
2回目	自己紹介をする。職場でのフォーマルなメールを読む、書く	オンデマンド	対面授業と連動
3回目	習慣・ルーティンについて質問する。[Wh-question]を練習する	オンデマンド	対面授業と連動
4回目	繰り返しを求める表現を学ぶ。意思疎通に問題があったことを説明する	オンデマンド	対面授業と連動
5回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「仕事や勉強のためのアプリについて発表する」	オンデマンド	対面授業と連動
6回目	「現在進行形」「単純現在形」を練習する。スポーツ、運動について話す	オンデマンド	対面授業と連動
7回目	サービス業界の会社へのメッセージを読む、書く	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。中間試験。
8回目	将来のことを説明する際に使う「現在進行形」を学ぶ。将来のプランについて話す	オンデマンド	中間試験解説、前期後半に向けて
9回目	招待する、招待に応える表現を学ぶ。招待を断る理由を説明する	オンデマンド	対面授業と連動
10回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「プレゼントを選ぶについて」	オンデマンド	対面授業と連動
11回目	「過去形」（陳述文の否定形；疑問文）を復習する	オンデマンド	対面授業と連動
12回目	新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書く	オンデマンド	対面授業と連動
13回目	[be going to]を復習する買い物に行くことについて会話する	オンデマンド	対面授業と連動
14回目	店内で欲しいものについて述べる。物事の言い方を英語で聞く	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。
15回目	前期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。
評価方法	実技試験50% 授業態度50%

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE2

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	グローバルコミュニケーション （Global Communivcation）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	120 (8)	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日1時限、水曜日4時限、木曜日1-3時限、金曜日1・3時限

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、
また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

レストランで頼みたいものについて説明することができる。ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書くことができる。
提案をする、また提案をうけることができる。海外生活についてのアドバイスを読む、また書くことができる。意見を尋ねる、また述べることができる。
広告を読む、また写真の説明を書くことができる。将来の予想を立てることができる。アドバイスについてのメールを読む、また書くことができる。
したことがあること、ないことについて話すことができる。インフォグラフィックを読む、セルフィーについての短いコメントを書くことができる。
天気について話すことができる。場所についての説明を読むことができる。方法についての説明リストを書くことができる。

授業計画・内容			
1回目	キッチンカーをデザインする「動詞型」を学ぶ	オンデマンド	対面授業と連動
2回目	ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書く	オンデマンド	対面授業と連動
3回目	[if / when]の使い方を学ぶ。自分の町で何をするかについて話す	オンデマンド	対面授業と連動
4回目	「問い返し疑問文」を学ぶ。提案をする、また提案をうける表現を学ぶ	オンデマンド	対面授業と連動
5回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「短期旅行のプランを立てる」	オンデマンド	対面授業と連動
6回目	「形容詞の最高級」を学ぶ。写真に写った人について話す	オンデマンド	対面授業と連動
7回目	広告を読む、また写真の説明を書く	オンデマンド	振り返り。中間試験
8回目	[have to]の使い方を学ぶ。職場での危険を回避することについて話す	オンデマンド	中間試験解説、後期後半に向けて
9回目	[It feels like (it’s like)]を使い、健康問題について話す；健康問題についてアドレスをもらう	オンデマンド	対面授業と連動
10回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「リアリティ番組を計画し、発表する」	オンデマンド	対面授業と連動
11回目	ソーシャルメディア（ネット）生まれの動詞を学ぶ	オンデマンド	対面授業と連動
12回目	インフォグラフィックを読む、セルフィーについての短いコメントを書く	オンデマンド	対面授業と連動
13回目	[be like]を使い、天気について話す	オンデマンド	対面授業と連動
14回目	道を聞く、道順を教える際に使う表現を学ぶ。言い改める際に使う表現を学ぶ、復習する	オンデマンド	振り返り
15回目	後期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。		
評価方法	実技試験50% 授業態度50%		

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE2

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	デジタルコンテンツ （Social Media and Digital Content Development Skills）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	坂井　隆仁
		授業形態	演習	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日3時限

【授業の学習内容】

商用利用のSNSで使う動画を自分で編集し投稿する。
パソコンの実務的な使い方を学習していき、授業終了時には自分のパソコンを自由に使いこなせる様に授業を進めていく。

※担当教員実務経験：営業、Webディレクター。ブライダルサービス、PA、カフェなど様々な現場の運営の現場に従事。

【到達目標】

パソコン内データの取り扱い方が分かり、自分で撮影した動画を編集しSNSに投稿することができるようになる。
また、商業利用のSNSで注意する事や、ホームページの作成活用方法等もわかるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション：自己紹介、USBメモリの使い方がわかる。ショートカットを使えるようになる。 タイピング練習をしてキーボードに慣れる。
2回目	画像加工：remove bgを使い画像加工をし、自由に使える様になる。
3回目	PowerPoint課題：２人チームで、おとぎ話のスライド作成。画像挿入ができる様になる。
4回目	PowerPoint課題：２人チームで、おとぎ話のスライド作成。文字入力装飾ができる様になる。
5回目	PowerPoint課題：２人チームで、おとぎ話のスライド作成。アニメーション、画面切り替えができる様になる。仕上げ
6回目	PowerPoint課題：２人チームで、おとぎ話のスライド作成。上映会を実施します。
7回目	動画編集：環境整備、静止画を使った動画作成、アニメーションを使える様になる。
8回目	動画編集：動画を使った動画作成、カット、文字入れができる様になる。書き出しできる様になる。
9回目	動画課題①：1分間の動画作成（テーマ：各自で決めてもらいます。）
10回目	動画上映会：各自作成した動画の上映会をします。なぜこのテーマにしたのか、こだわりポイントをみなさんに解説してもらいます。
11回目	SNS（インスタ）への投稿、商業利用時の注意点と著作権について、他SNSでのトラブル紹介
12回目	撮影練習：撮影する上での注意点、テクニックを説明したのち、各自撮影体験をする。
13回目	動画課題②-1：1分間の動画作成（テーマ：動物紹介）今まで使った技を使い自由に動画作成
14回目	動画課題②-2：1分間の動画作成（テーマ：動物紹介）今まで使った技を使い自由に動画作成
15回目	動画上映会：各自作成した動画の上映会をしSNSに投稿
準備学習 時間外学習	身近にある物にコレはどの様に作っているのか興味を持ち、 そして自分だったらこんな風に作るのになと、考える事をしてみて欲しい。
評価方法	授業内での傾聴力・発言力20％　・期末試験（作品評価）　80％

【使用教科書・教材・参考書】

データ配布

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	デジタルコンテンツ （Social Media and Digital Content Development Skills）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	坂井　隆仁
		授業形態	演習	総時間 （単位）	30 （２）	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日3時限

【授業の学習内容】

商用利用のSNSで使う動画を自分で編集し投稿する。
パソコンの実務的な使い方を学習していき、授業終了時には自分のパソコンを自由に使いこなせる様に授業を進めていく。

※担当教員実務経験：営業、Webディレクター。ブライダルサービス、PA、カフェなど様々な現場の運営の現場に従事。

【到達目標】

パソコン内データの取り扱い方が分かり、自分で撮影した動画を編集しSNSに投稿することができるようになる。
また、商業利用のSNSで注意する事や、ホームページの作成活用方法等もわかるようになる。

授業計画・内容	
1回目	前期復習：1分の動画作成
2回目	メール環境設定とビジネスメールの使い方
3回目	ホームページ作成：ペライチ環境設定、使い方の練習
4回目	ホームページ課題：テーマ「架空動物園を作成」
5回目	ホームページ課題：テーマ「架空動物園を作成」 前期で作った動画を挿入
6回目	ホームページ課題：テーマ「架空動物園を作成」 完成
7回目	ホームページ課題：どのような動物園を作ったのかプレゼン
8回目	動画応用：フリーズエフェクトの作り方
9回目	動画応用：効果音、ナレーション、BGMの効果的な作り方と使い方
10回目	動画応用課題：いままで学習してきた撮影、編集テクニックを使い2分の紹介動画を作成①
11回目	動画応用課題：いままで学習してきた撮影、編集テクニックを使い2分の紹介動画を作成②
12回目	動画応用課題：いままで学習してきた撮影、編集テクニックを使い2分の紹介動画を作成③
13回目	動画応用課題：上映会
14回目	Web3.0とは。SNSに代わる次世代のビジネス戦略
15回目	総復習と総括
準備学習 時間外学習	身近にある物にコレはどの様に作っているのか興味を持ち、 そして自分だったらこんな風に作るのになと、考える事をしてみて欲しい。
評価方法	授業内での傾聴力・発言力20%　・期末試験（作品評価）　80%

【使用教科書・教材・参考書】

データ配布

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	次世代のための環境教育 （Environmental Study for the Next Generation）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大橋　光雄
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 3時限

【授業の学習内容】

環境問題の概略を理解し、ジレンマや事例研究を参考にトリレンマ懸案をどのように自分たちの職場や社会にしていくか、またワークショップ（workshop）を用い読み解く力をつける。

※担当教員実務経験：福岡県キャンプ協会会長歴任後、現名誉会長。（公益社）日本キャンプ協会　元理事・専門委員。
アメリカ冒険学校「THE NATIONAL OUTDOOR LEADERSHIP SCHOOL」へ留学、WRWコース終了。
キャンプディレクター1級とプロジェクトワイルド上級指導者資格を有し、多くのキャンプイベントや執筆、普及活動に携わる。

【到達目標】

自分たちの業界と環境問題のつながりを知り、環境教育の必要性と目的を理解する。また、自然環境の一員としての人間の位置づけを環境倫理の面から掘り下げて考察する。
その上で主に9のカテゴリーで環境教育を紐解き多様な考えや社会経済との結びつきを考えることができるようになる。
各時間の授業のPPTを用い内容にそった講義とワークショップ（workshop）を通して理解を深めるようにする。
また、実際に今の環境教育が考えられるように新聞報道や環境教育の取り組みアクティビティ等演習を実施する。

授業計画・内容	
1回目	ガイダンス・環境教育の必要性と目的
2回目	世界の環境問題1（地球温暖化）海洋のメカニズム
3回目	世界の環境問題2（海洋と生物多様性）仕組みと身近な事例
4回目	世界の環境問題3（オゾン層の破壊）
5回目	世界の環境問題4（海洋汚染～ゴミ問題～食糧問題）
6回目	環境問題の啓発者の探る1．Severn Cullis-Suzuki　リオの伝説のスピーチを読み解く
7回目	環境問題の啓発者の探る2．　世界の環境教育の流れ「ベオグラート憲章」
8回目	職場を取り巻く環境問題　　日本の環境教育の流れ「関心・理解・行動」
9回目	環境教育における環境倫理　酸性雨・海洋汚染　マイクロプラスチック
10回目	環境教育における環境倫理　有害廃棄物の越境移動　マイクロプラスチック
11回目	環境教育における環境倫理　野生生物種の減少1
12回目	環境教育における環境倫理　野生生物種の減少2
13回目	環境教育における環境倫理　ジレンマからトリレンマ　砂漠化　異常気象
14回目	理解度の確認　Q&A　環境クイズ　エコ検定
15回目	試験の解説と補足
準備学習 時間外学習	毎回動画や新聞を題材に用いアクティブラーニングESD（Education for Sustainable Development）　SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）等を用いる。世界の動きやニュースソースに関心を持ち環境用語を理解しておくこと。
評価方法	定期試験:80% 発表:10% 受講出席率:10%

【使用教科書・教材・参考書】

適宜　資料を配布する。 また授業理解のためのミニテストを行う。

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	次世代のための環境教育	必修選択	必修	年次	2	担当教員	大橋　光雄
	（Environmental Study for the Next Generation）	授業形態	講義	総時間（単位）	30	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	月曜日 3時限

【授業の学習内容】

環境問題の概略を理解（SDGs17のターゲット目標）その解決に向けて主に社会や職場で環境教育に関する話ができるように現場を念頭に置いて授業を行う。

※担当教員実務経験：福岡県キャンプ協会会長歴任後、現名誉会長。（公益社）日本キャンプ協会　元理事・専門委員。
アメリカ冒険学校「THE NATIONAL OUTDOOR LEADERSHIP SCHOOL」へ留学、WRWコース終了。
キャンプディレクター1級とプロジェクトワイルド上級指導者資格を有し、多くのキャンプイベントや執筆、普及活動に携わる。

【到達目標】

環境問題の概略を知り、環境教育の必要性と目的を理解する。また、自然環境の一員としての人間の位置づけを環境倫理の面から掘り下げて考察する。
その上で主に職場中で環境教育を実践できるようになると同時に、社会での教育活動の中でもどのような活動ができるか考えることができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	ガイダンス・環境教育の必要性と目的　ESD　SDGs
2回目	世界の環境問題1（地球温暖化、酸性雨など）
3回目	世界の環境問題2（オゾン層の破壊、生物多様性減少など）
4回目	世界の環境問題3（エネルギー問題、人口・食糧問題）
5回目	環境教育のパイオニアを知る
6回目	環境系ゲーム　ESD　SDGs
7回目	世界の環境教育の流れ　環境系ゲーム　ESD　SDGs
8回目	環境教育における環境倫理 CSR CSV（企業の社会的責任）
9回目	日本の環境教育の流れ「関心・理解・行動」と世界の動きSDGs17のターゲット目標
10回目	就職現場での環境教育の位置づけと課題　「観光地の環境問題」
11回目	就職現場の中での実践1（全体計画、年間指導計画、（1））
12回目	就職現場の中での実践2（全体計画、年間指導計画、（2））
13回目	現場での環境問題と私たちにできること　ISO　ルール取り決め
14回目	理解度の確認　Q&A　環境クイズ
15回目	試験の解説と補足
準備学習時間外学習	毎回動画や新聞を題材に用いアクティブラーニングESD（Education for Sustainable Development）　SDGs (Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標)等を用いる。世界の動きやニュースソースに関心を持ち環境用語を理解しておくこと。
評価方法	定期試験:70% 発表:15% 受講出席率:15%

【使用教科書・教材・参考書】

適宜　資料を配布する。 また授業理解のためのミニテストを行う。毎回動画やニュースソース題材に選ぶ　アクティブラーニングESD（Education for Sustainable Development）　SDGs (Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標)等を用いる。

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	コンパニオンキャット （ Companion Cat ）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	石本　美樹
		授業形態	講義	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日2限

【授業の学習内容】

猫は犬と同じように人にとって身近な動物ではあるが、様々な点で猫特有の性質を持っている。この授業では、猫の歴史・習性を中心に学び、猫という動物について理解し、
正しい知識を得ることを目標とする。

※担当教員実務経験：サンフラワーキャットクラブ理事。
アビシニアン、ペルシャのブリーダーを経てペットシッターやキャットトレーナーなど猫と人の豊かな生活を支援する活動を行う。

【到達目標】

ネコを扱う上で必要となる習性や行動を説明できる。
ネコの体の特徴を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介　講義の進め方　猫のイメージって何？
2回目	猫の歴史・進化・分類
3回目	猫のルーツ　・古代エジプト～　・リビアヤネコについて
4回目	神格化されたネコと暗黒時代（エジプト～ヨーロッパ）世界への拡大）
5回目	日本ネコのルーツ　（縄文～平安時代～鎌倉時代～江戸時代～現代）　日本のキャットショーの歴史
6回目	ネコの習慣と行動　※1Wの猫のイメージから発展させる　特徴（ツンデレ・なつきにくい・単独→飼い主の存在）
7回目	ネコの狩り・遊びについて
8回目	仔育て（出産育仔中の行動）、排卵、発情
9回目	テリトリー・マーキングについて
10回目	体（平均的な体格と寿命）
11回目	歯の特徴　食べ方について
12回目	目・鼻・耳・被毛について
13回目	運動性・筋肉・骨格について　振り返り
14回目	前期期末テスト、解説
15回目	グルーミングについて
準備学習 時間外学習	授業で学ぶ時代について中学・高校で学んだ内容を復習しておくこと。 学んだ猫の特徴について、自宅や学校の猫を観察し理解を深めること。
評価方法	筆記試験　85% 授業内評価　15% ※受講態度・あいさつ・積極的な発言を評価

【使用教科書・教材・参考書】

猫の教科書

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	観賞魚研究Ⅱ （ Ornamental Fish Ⅱ ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	田中 侑弥
		授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	火曜日2時限

【授業の学習内容】

海洋生物に関する知識及び、飼育用品・機材・設備を学ぶ。
またそれらを応用して、濾過槽別に水槽の立ち上げやメンテナンスを学び、実習する。

※担当教員実務経験：水族館にて9年間、水生生物等の飼育業務に従事。

【到達目標】

海洋性魚類・無脊椎動物・海藻類の飼育に必要な飼育設備、水質維持管理に関する基礎知識を習得し、飼育に必要な環境を整え飼育管理を行えるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、シラバス説明
2回目	水の化学と海洋学
3回目	淡水生物と海洋生物の違い①
4回目	淡水生物と海洋生物の違い②
5回目	アクアリウムにおける海洋生物の種別解説①
6回目	アクアリウムにおける海洋生物の種別解説②
7回目	アクアリウムにおける海洋生物の種別解説③
8回目	海洋生物飼育用品・機材の種類と取り扱い方法①
9回目	海洋生物飼育用品・機材の種類と取り扱い方法②
10回目	海洋生物飼育用品・機材の種類と取り扱い方法③
11回目	海洋生物飼育用品・機材の種類と取り扱い方法④
12回目	海洋生物飼育用品・機材の種類と取り扱い方法⑤
13回目	期末試験範囲振り返り
14回目	期末試験と振り返り
15回目	期末試験返却、前期まとめ
準備学習 時間外学習	数千種にも及ぶ海水魚の種類とその飼育方法を講義の中だけで全て把握する事は困難である為、常日頃から図鑑・飼育本などをを参照し知識の蓄積に努める。 並行して実際に観賞魚店・水族館などを訪れ、生体・飼育器具・飼育方法など生の情報収集行う。 定期的に発行されるアクアリウム専門誌などにも目を通し、最新の情報・新商品・新着魚種などにもアンテナを張る。 実際に自宅で海水魚の飼育が行えればなお良い。
評価方法	■筆記試験：80% ■授業・実習態度：20%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト、PC

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	観賞魚研究Ⅱ （ Ornamental Fish Ⅱ ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	田中 侑弥
		授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	火曜日2時限

【授業の学習内容】

海洋生物に関する知識及び、飼育用品・機材・設備を学ぶ。
またそれらを応用して、濾過槽別に水槽の立ち上げやメンテナンスを学び、実習する。

※担当教員実務経験：水族館にて9年間、水生生物等の飼育業務に従事。

【到達目標】

海洋性魚類・無脊椎動物・海藻類の飼育に必要な飼育設備、水質維持管理に関する基礎知識を習得し、飼育に必要な環境を整え飼育管理を行えるようになる。

授業計画・内容	
1回目	海洋生物飼育用品・機材の種類と取り扱い方法⑥
2回目	海洋生物飼育用品・機材の種類と取り扱い方法⑦
3回目	海洋生物飼育用品・機材の種類と取り扱い方法⑧
4回目	海洋生物飼育用品・機材の種類と取り扱い方法⑨
5回目	海洋生物飼育用品・機材の種類と取り扱い方法⑩
6回目	海水水槽の立ち上げと日常管理①
7回目	海水水槽の立ち上げと日常管理②
8回目	海水水槽の立ち上げと日常管理③
9回目	海水水槽の立ち上げと日常管理④
10回目	大型施設の日常管理における注意点
11回目	水族館資料鑑賞
12回目	海水魚の病気・治療方法について
13回目	期末試験範囲振り返り
14回目	期末試験と振り返り
15回目	期末試験返却、前期まとめ
準備学習 時間外学習	数千種にも及ぶ海水魚の種類とその飼育方法を講義の中だけで全て把握する事は困難である為、常日頃から図鑑・飼育本などをを参照し知識の蓄積に努める。 並行して実際に観賞魚店・水族館などを訪れ、生体・飼育器具・飼育方法など生の情報収集行う。 定期的に発行されるアクアリウム専門誌などにも目を通し、最新の情報・新商品・新着魚種などにもアンテナを張る。 実際に自宅で海水魚・無脊椎動物の飼育が行えればなお良い。
評価方法	■筆記試験：80% ■授業・実習態度：20%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト、PC

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	動物の繁殖 (Animal Breeding)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	井上　龍介
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日2時限

【授業の学習内容】

動物の繁殖は、飼育現場で関わりの深い分野で、動物の種類や状況に合う環境をつくる技術や観察力が求められることも多い。
この授業では、様々な動物の繁殖のメカニズムや殖 繁殖行動について、詳しく学習する。

※担当教員実務経験：1981年～「海の中道海浜公園　動物の森」立ち上げから20年以上責任者として携わり、園内の動植物の飼育管理の他獣舎や展示場の設計にも携わる。
動物園における飼育技術を現場で実践。

【到達目標】

①動物の繁殖の現状・留意点・工夫などについて理解する、各動物の繁殖のメカニズムや、不妊去勢手術のメリット・デメリットについて理解する。
②目標①の内容について、説明ができる。
③各動物種の繁殖に適した環境づくりや、繁殖に関する動物の行動観察ができる。

授業計画・内容	
1回目	授業の目的、進め方
2回目	犬の繁殖のメカニズム①
3回目	猫の繁殖のメカニズム①
4回目	人工授精、不妊去勢手術のメリット・デメリットについて
5回目	哺乳類の繁殖様式
6回目	鳥類の繁殖様式
7回目	両性爬虫類の繁殖様式
8回目	昆虫類の繁殖様式
9回目	小型哺乳類の繁殖行動（有袋類、霊長類等）
10回目	小型哺乳類の繁殖行動（齧歯類、ウサギ他）
11回目	鳥類の繁殖行動（オウム、インコ類）
12回目	鳥類の繁殖行動（水禽、家禽類類）
13回目	昆虫類の繁殖行動（ミツバチ、ホタル他）
14回目	期末評価試験及び振り返り
15回目	補足解説
準備学習 時間外学習	授業内容のほとんどが初めて学習する内容となるため、理解できるまで時間をかけて説明する。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確実なものにして、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中の解説の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておくと目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを行うので、内容の整理に使うと効果的。繁殖に関する専門用語に関しては、その都度解説を行う。
評価方法	・筆記試験70% ・授業内評価（課題への取り組み、レポートの等）30%

【使用教科書・教材・参考書】

・社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編1　繁殖・飼料・病気」
滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の体のしくみ（生殖器系　内分泌系）」

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	小動物飼育演習Ⅱ （ Practical Small Animal Care-Ⅱ ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	椎場 瞳
		授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業		（4）	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

小動物を中心に体のしくみや生態を理解した上で飼育管理を行う。
また、スチューデントティーチャーとして1年生へ飼育指導を行う。

※担当教員実務経験：サファリパークにて3年間の飼育員経験有。サルや鳥類、クマ等様々な動物の飼育のほかワラビーの人工保育といった繁殖にも携わる。

【到達目標】

1年生が各種動物に合った飼養管理を理解し、説明できるようになる。
相手が理解できる伝え方を身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について伝える①
2回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について伝える②
3回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について伝える③
4回目	飼育管理の実践①
5回目	飼育管理の実践②
6回目	飼育管理の実践③
7回目	飼育管理の実践④
8回目	飼育管理の実践⑤
9回目	飼育管理の実践⑥
10回目	飼育管理の実践⑦
11回目	飼育管理の実践⑧
12回目	飼育管理の実践⑨
13回目	飼育管理の実践⑩
14回目	飼育管理の実践⑪
15回目	飼育管理の実践⑫、前期の振り返り
準備学習 時間外学習	授業終了後に報告書を作成し、内容を振り返る。また、次回授業に向け目標を立てること。
評価方法	授業内実習評価（協調性、コミュニケーション力、発言力、レポート記入力）80%、出席率20%

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の飼養管理」、「イラストで見る動物の体のしくみ」
社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 繁殖・飼料・病気」

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	小動物飼育演習Ⅱ （ Practical Small Animal Care－Ⅱ ）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	椎場　瞳
		授業形態	演習	総時間 （単位）	60 （４）	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

小動物を中心に体のしくみや生態を理解した上で飼育管理を行う。
また、スチューデントティーチャーとして1年生へ飼育指導を行う。

※担当教員実務経験：サファリパークにて3年間の飼育員経験有。サルや鳥類、クマ等様々な動物の飼育のほかワラビーの人工保育といった繁殖にも携わる。

【到達目標】

1年生が各種動物に合った飼養管理を理解し、説明できるようになる。
相手が理解できる伝え方を身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる①
2回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる②
3回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる③
4回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる④
5回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑤
6回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑥
7回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑦
8回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑧
9回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑨
10回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑩
11回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑪
12回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑫
13回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑬
14回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑭
15回目	飼育管理の実践　時間内に掃除・調餌ができるようになる⑮、後期の振り返り
準備学習 時間外学習	授業終了後に報告書を作成し、内容を振り返る。また、次回授業に向け目標を立てること。
評価方法	授業内実習評価（協調性、コミュニケーション力、発言力、レポート記入力）80%、出席率20%

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の飼養管理」、「イラストで見る動物の体のしくみ」
社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 繁殖・飼料・病気」

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	水生生物飼育管理Ⅱ （ Aquatic Animals and Plants Rearing Ⅱ ）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	平　隼人/田中　侑弥
		授業形態	演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日2時限・金曜日3時限

【授業の学習内容】

実際に海水水槽の管理をグループで行い、管理に付随してくる事柄に関して演習形式で指導を行う。

※担当教員実務経験：
　平　隼人：サカナヤデザイン代表。アクアリウムデザイナー。
　田中侑弥：水族館にて9年間、水生生物等の飼育業務に従事。

【到達目標】

海水水槽オーバーフローシステム水槽を中心とした取り扱い及び管理法を習得する。
チームのメンバーの作業進捗状況を把握し、効率的に水槽メンテナンスを行う。
トラブルが起きた際の対処方法を考え、行動する。

授業計画・内容	
1回目	各水槽システム取り扱い説明・人工海水の作り方
2回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
3回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
4回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
5回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
6回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
7回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
8回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
9回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
10回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
11回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
12回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
13回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
14回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
15回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
準備学習 時間外学習	生物の飼育は日々観察することが重要。学校内全ての水槽を毎日必ず生体の状態及び飼育設備をよく観察し、異常がある場合は速やかに対処すること。 水生生物の飼育法は様々なので、様々な飼育法を理解できるように常日頃実習室全ての水槽設備をよく観察し理解できるように。 できる限りショップ・水族館の見学を行い、それぞれの飼育法の違い、生体の状態の違いをよく観察すること。
評価方法	■授業内評価　80% ■授業出席率　20%

【使用教科書・教材・参考書】

第一・第二アクア実習室、海水魚水槽

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	水生生物飼育管理Ⅱ （ Aquatic Animals and Plants Rearing Ⅱ ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	平 隼人/田中 侑弥
		授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ専攻	実施方法	対面授業		(4)	曜日・時限	火曜日2時限・金曜日3時限

【授業の学習内容】

実際に海水水槽の管理をグループで行い、管理に付随してくる事柄に関して演習形式で指導を行う。

※担当教員実務経験：
平　隼人：サカナヤデザイン代表。アクアリウムデザイナー。
田中侑弥：水族館にて9年間、水生生物等の飼育業務に従事。

【到達目標】

海水水槽オーバーフローシステム水槽を中心とした取り扱い及び管理法を習得する。
チームのメンバーの作業進捗状況を把握し、効率的に水槽メンテナンスを行う。
トラブルが起きた際の対処方法を考え、行動する。

授業計画・内容	
1回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
2回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
3回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
4回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
5回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
6回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
7回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
8回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
9回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
10回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
11回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
12回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
13回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
14回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
15回目	①海水魚大水槽（ドライ濾過）②サンゴ水槽（ベルリンシステム）③海水魚集中ウェット濾過水槽1 ④集中ウェット濾過水槽2⑤淡水大型魚オーバーフロー水槽をグループローテーションでメンテナンスを実施　適宜説明
準備学習 時間外学習	生物の飼育は日々観察することが重要。学校内全ての水槽を毎日必ず生体の状態及び飼育設備をよく観察し、異常がある場合は速やかに対処すること。 水生生物の飼育法は様々なので、様々な飼育法を理解できるように常日頃実習室全ての水槽設備をよく観察し理解できるように。 できる限りショップ・水族館の見学を行い、それぞれの飼育法の違い、生体の状態の違いをよく観察すること。
評価方法	■授業内評価　80% ■授業出席率　20%

【使用教科書・教材・参考書】

第一・第二アクア実習室、海水魚水槽

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	ペットショップマネジメント （ Petshop Management ）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	安田　桂三
		授業形態	講義	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日 4・5時限

【授業の学習内容】

ペットショップ、その他準ずる企業を題材として、マネジメントの企画を立案・実施し検証する。

※担当教員実務経験：エキゾチックアニマルペットショップ「GROWING」の創業メンバーとして、店舗の設備、デザインを担当。その後管理業務、接客、取引に関する店舗営業の大部分を担当。水族館や大型ショッピングモール等と協力してのイベント運営などにも従事。
現在は生体の販売、繁殖、輸入等に従事。

【到達目標】

学生のうちから業界に関わることで、卒業後、企業の中で課題、問題を見つけ、解決に向けた企画作成、発表、実行ができる人材になる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（講義の説明）
2回目	企画　立案　準備　調査
3回目	企画　立案　準備　調査
4回目	企画　立案　準備　調査
5回目	企画　立案　準備　調査
6回目	企画　立案　準備　調査
7回目	企画　立案　準備　調査
8回目	企画　立案　準備　調査
9回目	企画　立案　準備　調査
10回目	企画　立案　準備　調査
11回目	企画　立案　準備　調査
12回目	企画　立案　準備　調査
13回目	企画　立案　準備　調査
14回目	企画振り返りとレポート作成
15回目	講義全体の振り返り、統括
準備学習 時間外学習	授業内で出た課題、問題を次回の授業で提起、発表できるように各自リサーチして授業に参加すること。
評価方法	授業内評価（グループワーク参加度、企画立案力、プレゼン力、制作物制作力）

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	ペットショップマネジメント （ Petshop Management ）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	安田　桂三
		授業形態	講義	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日 4・5時限

【授業の学習内容】

ペットショップ、その他準ずる企業を題材として、マネジメントの企画を立案・実施し検証する。

※担当教員実務経験：エキゾチックアニマルペットショップ「GROWING」の創業メンバーとして、店舗の設備、デザインを担当。その後管理業務、接客、取引に関する店舗営業の大部分を担当。水族館や大型ショッピングモール等と協力してのイベント運営などにも従事。
現在は生体の販売、繁殖、輸入等に従事。

【到達目標】

学生のうちから業界に関わることで、卒業後、企業の中で課題、問題を見つけ、解決に向けた企画作成、発表、実行ができる人材になる。

授業計画・内容	
1回目	企画　立案　準備　調査
2回目	企画　立案　準備　調査
3回目	企画　立案　準備　調査
4回目	企画　立案　準備　調査
5回目	企画　立案　準備　調査
6回目	企画　立案　準備　調査
7回目	企画　立案　準備　調査
8回目	企画　立案　準備　調査
9回目	企画　立案　準備　調査
10回目	企画　立案　準備　調査
11回目	企画　立案　準備　調査
12回目	企画　立案　準備　調査
13回目	企画　立案　準備　調査
14回目	企画振り返りとレポート作成
15回目	講義全体の振り返り、統括
準備学習 時間外学習	授業内で出た課題、問題を次回の授業で提起、発表できるように各自リサーチして授業に参加すること。
評価方法	授業内評価（グループワーク参加度、企画立案力、プレゼン力、制作物制作力）

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	卒業課題	必修選択	必修	年次	2	担当教員	吉丸　優麻
	（Graduation Study）	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業		(4)	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

入学以来これまで身につけた専門知識や技術の集大成として、学習の成果が卒業に値する実力を修得しているか評価するために、研究発表または実技の披露を行う。

【到達目標】

学習成果（知識・技術）をパワーポイントやポスター展示、実技披露として発表する。

授業計画・内容	
1回目	進級課題とは①　～進級課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	進級課題とは②　～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	進級課題の進め方　～発表までの流れやスケジューリングの確認～
4回目	テーマの決定　～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習①　～自分（班）のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習②　～途中経過の報告～
7回目	実践学習③　～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備①　～パワーポイント作成～
9回目	発表準備②　～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③　～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④　～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤　～パワーポイント作成～
13回目	発表①
14回目	発表②
15回目	進級課題の振り返り　～各自（班内）で意見交換、発表～
準備学習 時間外学習	各自（各班）で意見交換を随時行う。また、もらった意見を次に繋げる学習を行う。
評価方法	・発表内容：80% ・課題への参加度：20%

【使用教科書・教材・参考書】

専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	業界研修	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
	（ Business Internship ）	授業形態	演習	総時間（単位）	90	開講区分	随時
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業		（6）	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学生が目指す業界の企業または、それに準ずる組織・施設・個人等で研修(インターンシップ)を行う。このカリキュラムは業界のプロフェッショナルになるという大きな目標を前に、自身の進路を明確にするとともに各業界施設での「身構え・気構え・心構え」を知り、就職活動とする。

※担当教員実務経験：研修先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

・業界へのイメージと現実のギャップを軽減させる。
・実際の動物業界での研修を通じ、仕事の流れや職場でのコミュニケーションを図ることができるようになる。
・社会の成り立ち、社会人としてのマナーやルールを実体験で学び身に付ける。
・自らの「キャリア」をデザインできる。

授業計画・内容	
1回目	インターンシップ参加における目的の確認と目標設定
2回目	企業研究、履歴書作成
3回目	インターンシップ参加
4回目	インターンシップ参加
5回目	インターンシップ参加
6回目	インターンシップ参加
7回目	インターンシップ参加
8回目	インターンシップ参加
9回目	インターンシップ参加
10回目	インターンシップ参加
11回目	インターンシップ参加
12回目	インターンシップ参加
13回目	インターンシップ参加
14回目	研修ノートのまとめ、お礼状作成、レポート作成
15回目	報告会
準備学習 時間外学習	・事前に企業研究、インターンシップ先の選定活動 ・インターンシップ後の研修ノートまとめ、レポート作成
評価方法	・研修ノート内容及び提出(80%) ・インターンシップ先企業からの評価表（20%） これらを総合的に判断して評価

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	特別講義＆見学 （Special Lecture）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 （1）	開講区分	随時
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。
学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。

※担当教員実務経験：訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

・動物業界で必要な知識や技術を理解し、身に付ける。
・動物業界で必要な人間力を理解し、身に付ける。
・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。
・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。

授業計画・内容	
1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習 ・講義後もしくは見学後のレポートのまとめ
評価方法	・レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	イベント運営（Event Management）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	各イベント実務従事者
		授業形態	演習	総時間（単位）	15	開講区分	随時
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業		(1)	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。
企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。

※担当教員：各イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・企画立案、運営ができるようになる。
・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。
・接客を知り、実践できるようになる。
・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。
・予算管理を実践し習得する。
・スケジューリングを理解し、実践できる。

授業計画・内容	
1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・各自、目的に沿った案を考える ・イベント後レポートにまとめる
評価方法	・準備（50%） ・レポート(50%)

【使用教科書・教材・参考書】

過去のイベント資料

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	特別課外活動 （Club Activities）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各クラブ顧問
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 （1）	開講区分	随時
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学友会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。

【到達目標】

・チームワークを身に付ける。
・計画性を身に付ける。
・予算管理を身に付ける。
・マネジメントを理解し身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・日報や日誌、報告書を作成すること。
評価方法	・クラブ活動態度(100%)

【使用教科書・教材・参考書】

・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	ボランティア活動	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
	（Volunteer Work）	授業形態	演習	総時間（単位）	15	開講区分	随時
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業		(1)	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。

※担当教員：各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける。
・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去のボランティア活動報告書

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	資格取得講座 （Seminar for a Qualification）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	吉丸　優麻
		授業形態	演習	総時間（単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各専攻で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。

【到達目標】

・各検定試験、資格試験の合格

授業計画・内容	
1回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。
評価方法	資格取得、検定合格（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去の各検定、資格教本

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	内定者研修 （ Practicul Training for Prospective Employees ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	就職内定先企業実務従事者
		授業形態	演習	総時間（単位）	90 （6）	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。

※担当教員実務経験：就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。
2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。
3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。

授業計画・内容	
1回目	就職内定先において業務経験を積む （1）
2回目	就職内定先において業務経験を積む （2）
3回目	就職内定先において業務経験を積む （3）
4回目	就職内定先において業務経験を積む （4）
5回目	就職内定先において業務経験を積む （5）
6回目	就職内定先において業務経験を積む （6）
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む （7）
9回目	就職内定先において業務経験を積む （8）
10回目	就職内定先において業務経験を積む （9）
11回目	就職内定先において業務経験を積む （10）
12回目	就職内定先において業務経験を積む （11）
13回目	就職内定先において業務経験を積む （12）
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる
準備学習 時間外学習	業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめること。
評価方法	日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う（100%）。

【使用教科書・教材・参考書】

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	特別研究課題 （ Advanced Research Project for Prospective Employees ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	就職内定先企業実務従事者
		授業形態	演習	総時間（単位）	180 （12）	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようになる。

※担当教員実務経験：就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

1. 業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアをまとめることができる。
2. 課題を解決するアイデアを実践することができる。

授業計画・内容	
1回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える（1）
2回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える（2）
3回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える（3）
4回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える（4）
5回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える（5）
6回目	課題を解決するアイデアを報告し、質疑応答を行う
7回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う（1）
8回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う（2）
9回目	ブラッシュアップしたアイデアを報告し、質疑応答を行う
10回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する（1）
11回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する（2）
12回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する（3）
13回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する（4）
14回目	検証結果をまとめる
15回目	検証結果の報告を行い、今回の課題改善の振り返りを行う
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめること。
評価方法	課題を解決するアイデアを実践することで得られた結果を検証し、その報告内容によって評価する（100%）。

【使用教科書・教材・参考書】

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	卒業企業課題 （ Graduate Assignment for Prospective Employees ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	就職内定先企業実務従事者
		授業形態	演習	総時間（単位）	180 （12）	開講区分	後期
専攻名	総合ペットショップ	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。
プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。
実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。

※担当教員実務経験：就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。
2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。
3. 採用されたイベント企画を実践することができる。

授業計画・内容	
1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる （1）
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる （2）
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる （3）
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する （1）
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する （2）
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する （3）
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする （1）
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする （2）
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする （3）
12回目	企画したイベントの実践 （1）
13回目	企画したイベントの実践 （2）
14回目	企画したイベントの実践 （3）
15回目	イベントの振り返りとまとめ
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。
評価方法	イベントの企画・立案力：30% プレゼンテーション力：30% 実践力：40% 上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。

【使用教科書・教材・参考書】